

一般社団法人 鳥取県建築士事務所協会



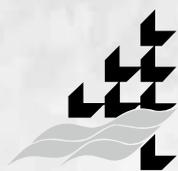
# 建築ととと

No.105

2025.3



T O T T O R I   A R C H I T E C T   O F F I C E   A S S O C I A T I O N



## 建築士事務所憲章

建築士事務所は、建築や環境が文化の形成に占める重要な意味を認識し、社会の健全な進歩と発展に寄与します。

- 誠意をもって設計と監理の業務を遂行し、建築主の期待に応えます。
- 健康で快適な生活環境の創造と、安全安心、持続可能で良質な資産の形成を図ります。
- 自己研鑽を怠らず、職業倫理を高め、法令遵守と公益の立場に立って最善を尽します。
- 設計意図の理解を施工者に求め、公正に工事を監理します。
- 互いに信頼を深め、連帯の精神をもって職務を全うします。

平成20年5月

一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

一般社団法人 鳥取県建築士事務所協会

## CONTENTS

巻頭言 ■	荒田すみ子	鳥取県生活環境部くらしの安心局局长 「いのちと健康を守る住まいづくりの推進に向けて」	4	
メッセージ ■	井手添 誠	会長	5	
支部の動き ■	塚田 隆	副会長 (東部担当)	6	
	藤原 賢治	副会長 (中部担当)	7	
	川中 節男	副会長 (西部担当)	8	
委員長の挨拶 ■	来田 信浩	総務企画委員会委員長	9	
	長谷川 聖	業務技術委員会委員長		
	吉田 成年	広報編集委員会委員長		
	藤原 賢治	木造住宅耐震診断委員会委員長		10
	小谷 真一	青年部準備会リーダー		
■	令和6・7年度 役員名簿 委員会・部会構成員	11		
■	令和6年度 鳥取県・(一社) 鳥取県建築士事務所協会との意見交換会	12-13		
旭日双光章受章 ■	藤井 泰徳	有限会社フジイ総合設計事務所	14	
日事連年次功労者表彰受章 ■	守山 康仁	株式会社エクス・プラン	15	
住みよい県土づくり表彰受章 ■	西村 純一	有限会社望月建築設計事務所	16	
	福田 洋之	有限会社福田設備設計		
特 集 ■	第46回建築士事務所全国大会 (福井大会)	17-19		
	小谷 真一	建築士事務所全国大会成年話創会報告	20	
	安谷 潔美	福井大会女性交流会2024に参加して		
特 集 ■	道の駅ほうじょう	21-26		
会員作品紹介 ■	有限会社安本設計事務所	27		
	株式会社白兔設計事務所	28		
	有限会社ケーアイ建築設計	29		
	有限会社井手添建築設計事務所	30		
	株式会社桑本建築設計事務所	31		
クローズアップ ■	前田 祐治	マエタケンチク一級建築事務所	32	
	田中 浩二	合同会社一級建築士事務所 山印	33	
賛助会員のページ ■		34-37		
事務局だより ■	会議報告、会員の異動、行事予定	38-39		



表紙

境港停泊中のダイヤモンドプリンセス

## いのちと健康を守る住まいづくりの 推進に向けて



鳥取県生活環境部くらしの安心局  
局長 荒田 すみ子

### 1. 住宅の耐震化の推進

本県における住宅耐震化率は令和3年度時点で85%となっており、残り15%の耐震化に向け、県内関係団体や市町村と協調し、住宅所有者個々の事情に応じた住宅耐震化の支援を行っています。

#### 一 住宅耐震化の負担軽減

本県では、積雪荷重の影響や住宅規模が大きいことから、耐震改修費が全国平均と比較して高額となっています。県では住宅所有者の負担を軽減するため、市町村と協調し、耐震診断、設計、改修等の耐震化に係る助成を行っています。

令和6年度は、能登半島地震による被災状況を踏まえ、耐震改修等の補助上限額の拡充の他、居室単位改修、耐震シェルターや耐震ベッド等の生命を守るための耐震対策のメニューも創設・拡充し、全国トップレベルの手厚い支援制度としました。また、低コスト耐震改修工法について、県内技術者を対象とした講習会を開催し、技術者の育成及び耐震改修のコストダウンに取り組んでいます。

#### 一 無料耐震診断の体制強化

令和6年度は、耐震化に対する意識が高まったことで無料耐震診断の申込みが大幅に増加しました。診断後の耐震改修等に円滑に繋がっていくよう、県内の耐震診断技術者を対象に、現地調査や耐震診断ソフトを用いた診断、補強計画の個別指導を行うことで、無料耐震診断の実施体制強化を図っています。

#### 一 住宅所有者の課題に応じたフォローアップ

耐震化が必要な住宅所有者に対し、個々の事情に対応する対策を促進するため、耐震化に進めない住宅所有者の抱える課題、専門家派遣等による相談業務等の支援を市町村と連携して行う「耐震ケースマネジメント」を実施しています。昨年6月には県と鳥取県建築士事務所協会等の専門家派遣団体で連携協定を締結し、現在、建築士の皆様にもご協力いただきながら、フォローアップを行っています。

引き続き、皆様と連携しながら耐震化の必要性を周知し、支援が必要な住宅所有者に対して、耐震診断、耐震改修等の支援制度の利用を働きかけ、更なる住宅耐震化促進、倒壊から命を守るための対策に取り組んでいきたいと思っております。

### 2. 住宅の省エネ化の推進

県では、国の省エネ基準を上回る県独自の健康省エネ住宅性能基準を策定し、基準を満たす住宅をとっとり健康省エネ住宅「NE-ST」(ネスト)と認定し、助成を行っています。県民の健康の維持・増進、住宅の省エネ化及びCO2排出量の削減を図るため、2030年までに新築木造戸建住宅ではNE-STを標準化することを目指しています。

#### 一 欧米に比べて低い日本の住宅の断熱性能

県内の住宅は216,400戸。このうち国の省エネ基準を満たす住宅は約10%にとどまっています。

一方で、住宅の室温と健康との関係に関する研究により、高い断熱性能を有する住宅は「省エネ」だけでなく「健康」にも効果があることがわかってきました。そこで、県では、とっとり健康・省エネ住宅推進協議会の協力を得て、県独自の健康省エネ住宅性能基準を策定しました。

#### 一 とっとり健康省エネ住宅の認定

NE-STの認定では、断熱と気密の2つの性能基準を満たすほか、県の技術研修を受講し、登録された事業者により設計・施工することが要件となっています。NE-STはNEXT-STANDARDの略であり、NE-STには鳥の巣、まさに“鳥取の家”という意味が込められています。

#### 一 賃貸住宅や公営住宅もNE-STに

令和5年度の新築木造戸建住宅では4割がNE-STの性能を確保されるなど着実に普及しており、賃貸住宅にも広がっています。令和6年1月には鳥取市でNE-STの賃貸住宅が登場しました。さらに岩美町ではNE-STの町営住宅も建設されています。県も県営住宅を建て替える際にはNE-STの性能を確保することとしており、公営住宅から率先して取り組んでいます。

### 3. おわりに

住まいは、いのちと健康を守る生活の基盤です。耐震化による安心・安全、断熱化による健康・快適な住まいの推進に向け、引き続き各種制度等の周知を図ってまいりますので、建築士事務所協会の皆様にもご協力いただきますようお願いいたします。



## 会長メッセージ

会長 井手添 誠

令和6年10月に、建築士事務所全国大会が福井市で開催されました。鳥取会は28名の参加があり貸し切りバスで福井市に向かいました。参加された皆さまは、昨年に鳥取・島根大会を共催したこともあり、第三者の立場で昨年と比べながら大会を観戦していたようです。改めて鳥取・島根大会は、良い大会であったと再認識しました。

令和7年4月には、建築基準法改正が行われます。省エネ促進と木材利用拡大を主な目的とした改正ですが、今まで4号建築として建築特例があった木造住宅においても確認申請時に省エネ計算と構造計算の提出が必要となります。同時に、今まで都市計画区域外では確認申請が不要でしたが、通常規模の2階建ての住宅でも確認申請が必要となります。この改正は、耐震偽装で法改正となった時と同じくらい日本の建築業界に大きな影響を与えるのではないかとされており準備を進める必要があります。

令和6年は1月1日16時10分に発生した能登半島地震から始まりました。M7.6という大地震で最大震度7を記録しました。能登半島西方沖から佐渡島西方沖にかけて伸びる活断層が震源でした。この能登半島を地図で見ると、輪島市から珠洲市まで楕円形の島となっており、本州との間を堆積物が埋めてできた半島になっています。島根半島と比べるとよく似ていることに気がつきます。出雲市から美保関まで楕円の島が数個あり、その間を大山とか三瓶山からの砂の堆積により半島になっています。この半島先端より鳥取県沖まで断層が走っていることが知られており、この地震は鳥取県においても無縁ではありません。

県内でも地震に対する不安から木造住宅の無料診断の需要が増えてきました。鳥取県では耐震化率85%程度と言われております。耐震化率は、住んでいる住宅で耐震化が終わっている割合ですから、新築が増えれば自然と耐震化率が増えて行きます。イメージしやすいパターンは、若夫婦は独立してマンションに引っ越し、老夫婦は古い住宅に住み続けるケースです。結果、見かけ上の耐震化率は上がりますが「若いもんは出てしまったので、ワシらは住宅に金を掛ける気が無いからこのままで良いわい」となり耐震補強が進まないこととなります。この残り15%が問題となります。地震時に倒壊すると、瓦礫で火災が発生するなど二次災害を引き起こす可能性があるからです。鳥取県では耐震化が進んでいない住宅に対して、各市町村の担当者が戸別訪問を行い、住民からの声を直接聞く、「耐震ケースマネジメント」を開始しました。令和6年6月に一般社団法人 鳥取県建築士事務所協会は、公益社団法人 鳥取県宅地建物取引業協会と共に、鳥取県と「耐震ケースマネジメントの実施の協力に関する連携協定」を結びました。戸別訪問の結果、専門家の派遣依頼があった場合に対応していくこととなりました。

会員皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。今年の干支である巳年(蛇)は脱皮して新たな姿に生まれ変わる姿から再生の象徴とされています。皆さまの企業が新しい挑戦の年となるよう祈念いたします。

支部長(東部担当) 塚田 隆



### 建築設計業界の2024年問題

2024年4月から始まった建築設計業界の働き方改革、いわゆる「2024年問題」によって、業界は大きな変革のときを迎えています。建築設計業界では時間外労働の上限が厳しく制限され、時間外労働の割増賃金率が引き上げられました。これに伴い、人材不足の深刻化、長時間労働に依存してきた建築設計業界は大きな影響を受け始めています。

### 建築設計業界の2024年問題：解決のヒント

2024年の労働基準法改正により、時間外労働の上限規制が適用されることで、人手不足や納期管理の課題が深刻化しています。これを解決するためには、以下のような取り組みが有効と思われます。

### 業務の効率化・デジタル化

BIM (Building Information Modeling) の活用やAIによる設計補助ツールの導入で、作業時間を削減できます。

### 働き方の改革

リモートワークやフレックスタイム制を導入し、労働環境の改善を図ることが重要です。

### 適正な報酬と人材育成

設計料の適正化を進め、建築士事務所協会として様々なリクルートを通して、人材確保を行い若手育成に力を入れることで持続可能な業界を目指します。

これらの施策を進めることで、業界全体の生産性向上と働きやすい環境の整備が可能となるでしょう。

## 一木会 令和6年度の活動報告

### ■ 一木会総会

- 開催日 令和6年6月6日(木)午後5時30分～
- 場所 しいたけ会館 対翠閣
- 参加人数 35名
- 内容 1) 委員会報告  
2) 総会  
3) 懇親会

### ■ 一木会ゴルフ同好会

- 開催日 令和6年6月15日(土)
- 場所 旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部 白兔コース
- 参加人数 30人

### ■ 一木会釣り同好会

- 開催日 令和6年7月5日(金) 7月26日(金)
- 場所 鳥取港沖
- 参加人数 延べ16人

### ■ 第1回 一木会例会

- 開催日 令和6年8月1日(木)午後4時40分～
- 場所 しいたけ会館 対翠閣
- 参加人数 40名
- 内容 1) 委員会報告  
2) 研修会『中規模木造セミナー』  
講師 鳥取県生活環境部  
くらしの安心局住宅政策課 係長 増井 祐介 氏  
株式会社本間設計事務所 花本 浩児 氏  
株式会社佐々木構造設計 佐々木良介 氏  
3) 納涼会

### ■ 第2回 一木会例会

- 開催日 令和6年10月3日(木)午後5時～
- 場所 しいたけ会館 対翠閣
- 参加人数 32名
- 内容 1) 委員会報告  
2) 企業PR 日成ビルド工業株式会社  
有限会社 I.T.T.  
3) 県、市との意見交換会について



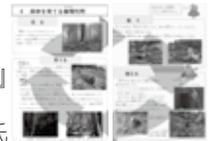
10/3 例会

### ■ 一木会ゴルフ同好会

- 開催日 令和6年10月19日(土)
- 場所 旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部 湖山コース
- 参加人数 26人
- 内容 雨天の為集合後中止

### ■ 第3回 一木会例会

- 開催日 令和6年12月5日(木)午後5時～
- 場所 しいたけ会館 対翠閣
- 参加人数 38名
- 内容 1) 委員会報告  
2) 研修会『県産材の現況について』  
講師 鳥取県東部森林組合  
代表理事組合長 嶋沢和幸 氏  
3) 忘年会



12/5 例会

### ■ 第4回 一木会例会

- 開催日 令和7年3月6日(木)午後5時～
- 場所 しいたけ会館 対翠閣
- 参加人数 40名
- 内容 1) 委員会報告  
2) 賛助会 企業PR  
3) 懇親会





昨年の例会、研修会は充実した内容であったと思っています。また特に建築士会との協賛の親睦ゴルフコンペは、2度の開催にも関わらず沢山の方に参加いただき、親睦を深めるいい機会となりました。

令和7年度も様々な企画を役員とともに考えていきたいと思えます。

建築業界全体の問題でもありますが、建築設計事務所でも近年事業承継の問題を考える事が多くなりました。中部の現状も60代後半から70代前半の経営者、技術者が特に多くなってきており、40代50代が極端に少ないのが現状です。

地方創生が活発化している昨今の動きを追い風として、業界全体で若手技術者の育成を活発化し、県外からのUターン、Iターンを促す必要性を感じています。

建築基準法が2025年は4月より大きく改正されます。研修会は度々行われていますが、当初は混乱も予想されます。会員同士情報を共有してスムーズな申請業務ができるよう、例会等でも研修機会を持ちたいと思っています。

近年続く建築資材、人件費の高騰、困難な人材確保、複雑化される業務は益々増える事になりますが、協会としても情報公開をスピーディーに行い、乗り切れるよう努力したいと思っております。

## 一水会 令和6年度の活動報告

### ■ 令和6年度中部支部一水会通常総会

開催日 令和6年5月19日(金)  
場所 倉吉シティホテル  
参加人数 19名



### ■ 建築士事務所協会中部支部、建築士会中部支部 合同ゴルフ大会

開催日 令和6年5月29日(水)  
場所 旭国際浜村温泉  
ゴルフ倶楽部  
参加人数 26名



### ■ 6月例会

研修内容 「介護業界問題解決を！」

講師 サンセキ株式会社  
山本 篤志 氏 渡部 令子氏

開催日 令和6年6月5日(水)  
場所 ホテルセントパレス倉吉  
参加人数 34名



### ■ 8月例会

研修内容 震災等から学ぶアスロックの安全対策

開催日 令和6年8月7日(水)  
場所 倉吉シティホテル  
参加人数 37名

### ■ 10月例会

研修内容 「窯業系サイディングを活用した外壁耐火構造について」

講師 ケイミュー株式会社 中山 治氏  
「エレベーターの市場動向と小型エレベーターについて」  
講師 パナソニックエレベーター株式会社  
西島 正浩氏

開催日 令和6年10月2日(水)  
場所 ホテルセントパレス倉吉  
参加人数 32名



### ■ 倉吉市、建築設計事務所 意見交換会

開催日 令和6年10月4日(金)  
場所 倉吉市役所本庁舎

### ■ 建築士事務所キャンペーン 「木の住まいフェア～住まいの無料相談会」

(一社)鳥取県木造住宅推進協議会中部支部主催「2024木の住まいフェア」にて無料相談会を開催しました。

開催日 令和6年11月15日(金)  
場所 新日本海新聞社 中部本社



### ■ 12月忘年例会

忘年例会を開催いたしました。今回はホテルセントパレス倉吉に集まり年末の雑事を忘れ、会員同士今年一年の反省を語り合いながら盛り上がりました。

開催日 令和6年12月4日(水)  
場所 ホテルセントパレス倉吉  
参加人数 39名



### ■ 2月例会

研修内容 ZEB研修会

講師 パナソニック株式会社エレクトリックワークス社マーケティング本部  
総合営業企画部電材営業開発部西日本ソリューション課  
主務 高岡 友康氏

開催日 令和6年2月5日(水)  
場所 倉吉シティホテル  
参加人数 28名





## 副会長(西部担当) 川中 節男

この度、副会長に就任しました川中でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

70歳をゆうに過ぎて、副会長に付くとは、年が年ですから、物忘れ、耳が聞こえづらい、体力の低下など避けては通れないのですが、持てる経験を活かし協会のため尽くしたいと思います。私が設計事務所を設立したのが昭和63年、それから36年、本会に入会し36年、巡りあった諸先輩にご指導を受け年月は流れ、現在に至りました。本会を見渡すと令和7年(昭和100年)の今、開設者118名の内50歳以下の開設者は20名足らず。

若手協会員の入会と事業への積極的参加の呼び掛け、支部(山水会)活動に於いても同様な呼び掛けをし、賛助会員との交流とPR場所提供を行います。本会の県外研修、住まいの無料相談会、西部支部の例会等に参加して頂いた正会員・賛助会員の皆様に感謝申し上げます。

No.	氏名	社名	備考
<b>正会員 幹事</b>			
1	川中 節男	(株)ケーアイ建築設計	本会役員兼務
2	足立 收平	(株)平設計	〃
3	吉田 成年	(株)安達建築設計事務所	〃
4	岩崎 浩	岩崎構造設計事務所	〃
6	木下 俊哉	木下俊哉建築設計事務所	〃
7	松山 久	(株)桑本建築設計事務所	〃
8	清水 幸憲	(株)清水設計	〃
5	守山 康仁	(株)エクス・プラン	〃
9	白石 博昭	(株)しらいし設計室	新任
10	池田 太一	リンクス設計事務所	〃
<b>賛助会員 幹事</b>			
11	瀬尾 穰明	(株)インテリアセオ	
12	高塚 仁	(株)石田コーポレーション	
13	知久谷知之	(株)エフエスエーシステムズ	
14	池田 紀之	サンセキ(株)鳥取営業所	
15	山本 睦	三洋(株)	
16	山本 升司	(株)山板	

### 一水会 令和6年度の活動報告

#### ■6月幹事会

- 開催日 令和6年6月17日(月)
- 場所 海王
- 内容 納涼会、賛助会員のPR、新任幹事の選出
- 参加人数 11名

#### ■7月幹事会

- 開催日 令和6年7月25日(木)
- 場所 大力家族亭
- 内容 納涼例会の担当者確認ほか
- 参加人数 13名

#### ■8月納涼例会

- 開催日 令和6年8月22日(木)
- 場所 米子ワシントンホテルプラザ
- 参加人数 来賓3名、  
正会員19名、  
賛助会員37名、  
計59名



#### ■11月幹事会

- 開催日 令和6年11月29日(金)
- 場所 大力家族亭
- 内容 忘年例会の担当者確認ほか
- 参加人数 15名

#### ■12月忘年例会

- 開催日 令和6年12月11日(水)
- 場所 皆生つるや
- 参加人数 来賓4名、正会員22名、賛助会員36名、計62名



#### ■木の住まいフェア無料相談会

- 開催日 令和6年9月28日(土)
- 場所 米子産業体育館 サブアリーナ
- 参加人数 (相談員)正会員7名  
20件



## 総務企画委員会

委員長 来田 信浩

この度、総務企画委員長を仰せつかりました、来田です。総務企画委員長をおおせつかるのも3度目。広報編集委員長を2年、業務技術委員長を2年勤めさせていただき、5年ぶりに再任ということになります。塚田担当副会長、各支部の副委員長、各委員の方々のご協力のもと、勤め上げる所存です。

当委員会の役割としましては、会員の増強等組織拡充への取り組み、苦情解決業務の実施、全国大会への参加者調整、県外研修会の開催、行政機関との相互連携及び事業推進に係る業務協力、地域研修・研究事業活動の活性化があげられます。委員の皆様には、各自自覚を持って上記への積極的な協力をお願いいたします。

また、協会員の皆様におかれましては上記の

ような企画の案内、協力要請等がございましたら、ぜひとも、ご参加・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて早速ではありませんが、本年度は10月に全国大会が福井県にて行われましたので、それに合わせて10月10日～12日にかけて県外研修会を実施いたしました。多くの方々に参加頂き、ありがとうございました。来年度は新潟県にて行われる全国大会に合わせた県外研修会となります。充実した企画を練りたいと思っておりますので、ふるってご参加ください。

2年間、どうぞ、よろしくお願いいたします。



## 業務技術委員会

委員長 長谷川 聖

今年度、業務技術委員長をさせていただきました。活動報告としまして年度当初、特記仕様書の作成作業の補助を行いました。当委員会の主な役割として、各種研修会・講習会の開催と受付等の補助、総務企画委員会と連携しての企画開催があります。各種研修会・講習会開催時の受付補助については事務局で対応いただきましたので、今年度は委員として役割を十分に果たせませんでした。

建築士事務所協会の発展と業界全体が人手不足、特に若手の確保が難しい状況に、来年度業務技術委員として少しでも寄与できればと思います。



## 広報編集委員会

委員長 吉田 成年

今年度より2年間広報編集の仕事をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

当協会の会報誌「建築とっとり」の企画・発行が主な活動となりますが、沢山の方々に見て頂き、鳥取県建築士事務所協会の活動が多くの皆様を知って頂ければと考えております。

ここ数年のコロナ禍からようやく脱し、未来に向けて進めるよう、表紙の写真は境港に寄港する客船の写真としました。コロナでばったり

途絶えていた大型客船もようやく復活の兆しが見えてきました。また米子空港では韓国便に加え、香港便が復活、台湾便も始まるようです。次の号でも大きな客船の写真が掲載出来るよう経済も活性化しますように。



木造住宅耐震診断委員会 委員長 藤原 賢治

昨年の能登地方の地震では家屋に甚大な被害があり、耐震補強の必要性を多くの方が感じられた結果として耐震診断件数は多くの依頼がありました。

また耐震改修を行いたいという意向も増加しています。その反面高齢者のみの住宅等で経済的な理由と今後居住継続が困難な場合など改修まで踏み込めないケースもあります。

補助金は拡充されていますが、工事費高騰も大きな理由になっています。

低コストの耐震補強方法も様々開発され

ており、まずは命を守る事を主眼において、我々も研修を重ね、工事費自己負担の軽減に努めていく必要性を感じています。

高齢化率が高い鳥取県では特に今後そういった傾向が益々増加すると考えられます。これからも耐震改修の機運を高め、安全な住宅を増やしていくことを我々建築士が多方面に発信していく必要性を感じています。



青年部準備会 リーダー 小谷 真一

2023年に行われた全国大会 鳥取・島根大会で青年話創会の実行委員長を務めさせていただいた流れもあり、この度青年部準備委員会リーダーの役職を拝命いたしました。

全国では持続可能な組織を目指し既に40の都道府県で青年部会が立ち上がっており単位会や各ブロックにおいて今後の業界を担う若者の育成を目的とし、様々な事業を通して会員の交流や情報交換が行われおり全国の若い会員とつながりを作ることができ、

参加することでそのような機会を得ることができます。

また中四国ブロック協議会も2023年に設立されており、そこで行われる事業に参加しながら鳥取県においてはどのような組織の在り方が良いか検討して行きたいと思います。皆様のご協力をよろしくお願いします。



# 令和6・7年度 役員名簿

役職名	氏名	所属	所在地	電話
会長	井手添 誠	(有)井手添建築設計事務所	倉吉市福庭町1-378	0858-26-5321
副会長	塚田 隆	(有)塚田隆建築研究所	鳥取市岩吉96-30	0857-28-9112
〃	藤原 賢治	(有)アーク設計工房	倉吉市南昭和町92	0858-47-0058
〃	川中 節男	(有)ケーアイ建築設計	米子市角盤町3-79	0859-33-2652
専務理事	下田 悟	(一社)鳥取県建築士事務所協会	鳥取市西町2-102	0857-23-1728
理事	山下 卓治	(株)山下設計工房	鳥取市富安1-74-3	0857-27-5701
〃	聲 高 昌可	田中工業(株)設計事務所	鳥取市秋里1247	0857-22-8061
〃	藪 田 浩明	(株)白克設計事務所	鳥取市西町2-123	0857-22-8381
〃	来 田 信浩	(株)桜や 建築設計工房	鳥取市雲山172-40	0857-30-3901
〃	南 波 一好	フォーディー設計合同会社	鳥取市興南町61-2	0857-30-6147
〃	安 谷 潔美	カノン設計室	東伯郡琴浦町浦安370	0858-52-1175
〃	戸 田 雅之	一級建築士事務所戸田設計	倉吉市南昭和町86	0858-23-4407
〃	長谷川 聖	(有)安本設計事務所	倉吉市八屋198-7	0858-26-3469
〃	村 中 耕作	(有)匠セイク合同設計	倉吉市八屋215	0858-26-5672
〃	足 立 收平	(株)平設計	米子市東町177	0859-32-6161
〃	守 山 康仁	(株)エクス・プラン	米子市米原7-11-23	0859-22-4828
〃	松 山 久	(株)桑本建築設計事務所	米子市道笑町2-126	0859-32-3745
〃	木 下 俊哉	木下俊哉建築設計事務所	米子市三本松2-6-41	0859-33-3725
〃	清 水 幸憲	(株)清水設計	米子市石井322	0859-26-6688
〃	吉 田 成年	(有)安達建築設計事務所	米子市道笑町2-172	0859-33-7808
監事	尾 崎 知典	(有)尾崎設計	鳥取市湖山町西3-132-51	0857-31-0205
〃	讃 岐 英夫	(有)ミュー設計工房	倉吉市清谷町1-86-2	0858-48-1003
〃	岩 崎 浩	岩崎構造設計事務所	米子市博労町1-8	0859-22-7911

# 令和6・7年度 委員会・部会 構成員

総括	委員会名	担当副会長	委員長	支部	副委員長	委 員	
会長 井手添 誠	総務企画	塚田 隆	来田 信浩	東部	赤山 涉 聲高 昌可	尾崎知典、懸樋義樹、小林孝行、吉原政幸、山下卓治、松岡力也 坂本仁人、石黒洋平、荒田潤之介、加藤辰宏、田中但男	
				中部	戸田 雅之 北中 彰弘	讃岐英夫、大前拓也、酒井祐一、若松高幸、嶋田恭平、 伊藤典章、川瀬光知夫、山田大生、松井香名子、穠近亮士	
				西部	足立 收平 松山 久	高村和也、長谷川恵一、坂本浩志、山本博樹、松本 正、尾崎 学、松浦純也 津田雅司、中山晴文、山中 勲、藤原 聡、池田幸仁、田中浩二	
				東部	南波 一好 福田 洋之	森本博美、門脇 昇、奥谷 司、佐々木良介、清水文寿 保木本啓一、杉内勝成、保木本和則	
				中部	尾崎 浩秀 安谷 潔美	川口俊光、竹中 誠、馬野慎一郎、小谷博志、田中一義、 秋本文男、小椋栄治、小谷真一	
				西部	清水 幸憲 岩崎 浩	瀬川浩一、亀山浩一、杵村優一郎、戸田隆雄、本田雅紀、竹田昭生、 赤井 優、田邊 誠、武良靖之、田淵孝一、藤原文章、白石博昭	
				東部	藪田 浩明 藤原 裕二	高橋祐文、谷本正敏、小谷雅昭、長谷川信文、松島浩之 花本浩児、木下直大、森口幸枝	
				中部	村中 耕作 巨 寛之	里見泰男、荒井芳民、泉 博和、杉島篤美、小椋大樹、 権久瑞穂、前田祐治、丁田勝功	
				西部	守山 康仁 木下 俊哉	浦川英敏、田中 裕、足立 浩、井田 優、羽子田靖彦、金田 勝、門脇 晃、 小山博之、蔵本晴美、別所一生、山中省吾、堀尾輝昭、矢倉通宏	
	常任委員会	広報編集	川中 節男	吉田 成年	東部	南波 一好 福田 洋之	森本博美、門脇 昇、奥谷 司、佐々木良介、清水文寿 保木本啓一、杉内勝成、保木本和則
					中部	尾崎 浩秀 安谷 潔美	川口俊光、竹中 誠、馬野慎一郎、小谷博志、田中一義、 秋本文男、小椋栄治、小谷真一
					西部	清水 幸憲 岩崎 浩	瀬川浩一、亀山浩一、杵村優一郎、戸田隆雄、本田雅紀、竹田昭生、 赤井 優、田邊 誠、武良靖之、田淵孝一、藤原文章、白石博昭
	業務技術	藤原賢治	長谷川 聖	東部	藪田 浩明 藤原 裕二	高橋祐文、谷本正敏、小谷雅昭、長谷川信文、松島浩之 花本浩児、木下直大、森口幸枝	
				中部	村中 耕作 巨 寛之	里見泰男、荒井芳民、泉 博和、杉島篤美、小椋大樹、 権久瑞穂、前田祐治、丁田勝功	
				西部	守山 康仁 木下 俊哉	浦川英敏、田中 裕、足立 浩、井田 優、羽子田靖彦、金田 勝、門脇 晃、 小山博之、蔵本晴美、別所一生、山中省吾、堀尾輝昭、矢倉通宏	
		青年部準備会	(リーガー) 小谷 真一	東部	——	西村 純一	
				中部	——	小谷 真一	
				西部	——	池田 太一	
		指導(倫理)委員会 (苦情解決)	井手添 誠	東部	——	塚田 隆、藪田 浩明	
				中部	——	藤原 賢治、讃岐 英夫	
西部				——	足立 收平、川中 節男		
専門委員会		特建審査委員会	塚田 隆	東部	——	熊澤 幸秀、土居 一頼	
	中部			——	里見 泰男、長谷川 聖、竹中 誠		
	西部			——	高村 和也、井田 優		
	木造住宅 耐震診断委員会	藤原 賢治	東部	松島 浩之	小谷 雅昭、南波 一好		
			中部	讃岐 英夫	秋本 文男、大前 拓也		
			西部	吉田 成年	木下 俊哉、岩崎 浩		
			東部	——	門脇 昇、藪田 浩明		
耐震専門委員会 委員長 稲田 祐二 委員長代理 田中 博美 副委員長 藤井 泰徳 相談役 井手添 正 (検査担当)	東部	——	門脇 昇、藪田 浩明				
	中部	——	井手添 誠、讃岐 英夫				
	西部	——	羽子田孝彦、岩崎 浩				
部会	賛助会 東部、中部、西部 担当	東部	森下 泰年(株)森下久平商店)				
		中部	端 純一(株)鴨川)				
		西部	瀬尾 穰明(株)インテリアセオ)				

※ 指導委員会委員は、倫理委員会委員を兼ねる  
 ※ 耐震専門委員会は、鳥取県耐震診断等評定委員会規定 第6条に基づき設置

順不同

## 意見交換の概要

1. 開催日時：令和6年11月11日(月)13:30～  
 2. 開催場所：鳥取県庁第2庁舎9階 第21会議室  
 3. 出席者

## 【鳥取県生活環境部くらしの安心局住宅政策課】

課長補佐：小谷 良和

## 【鳥取県総務部営繕課】

課長：川口 新二

参事：松田 秀和

課長補佐：野田 雅寿、衣笠伸一郎、垣田 哲也

係長：山本 勇気、永見 明

## 【(一社)鳥取県建築士事務所協会】

会長：井手添 誠

副会長：塚田 隆、藤原賢治

東部支部：山下 卓治、藪田 浩明、西村 純一

中部支部：村中 耕作、竹中 誠

西部支部：足立 收平、松山 久、吉田 成年

事務局長：下田 悟

## 4. 当協会からの提案議題 【住】：県住宅政策課、【営】：県営繕課、【協】：建築士事務所協会

## 議題(1) 木造住宅耐震診断の業務料等の見直しについて

昨今の労務費の高騰により担当する設計事務所・建築士の確保が困難化しており、技師単価のアップ分(H24年比150%)の業務料の引き上げに理解をいただきたい。

耐震改修費用の概算は、実際の改修費用との乖離が著しく、「改修は困難」と診断依頼者が誤解すると危惧され、当該業務を撤廃してもらいたい。

告示670号の報酬基準算定式による診断委託料は税抜432千円～となる一方、国の耐震診断補助対象事業費はその1/3程度であり、本協会の業務料の引き上げが(地方自治体の負担なく)円滑に実施できるよう、補助対象限度額の改訂を国に依頼していただきたい。

【住】 補助額の見直しを検討しているところであり、県から共同補助となる市町村に理解をもらえるよう説明する。国への要望についても行いたい。耐震診断時の概算額は、提示を性急にやめるのではなく、診断依頼者に誤解なく伝える方法を協会と協議しながら検討したい。

【協】 予算確保等に県で先陣を切って行動してもらおうことで、町村も活動しやすいと思われるので、意識を高めて頂きたい。概算費算出は相当の業務負担もあり、乖離が目立つものを一次診断時に建築主に提示することはよくない。一番の目的は耐震改修まで行うことであり、今までの経験値による概算とするなどを含めて検討頂きたい。

## 議題(2) 事務所登録手数料の改訂について

本年度も去る9月26日に会長名にて要望書を提出させて頂いた。建築士事務所登録事務の安定的な運営維持のため、また令和7年度のオンライン化への円滑な移行を行うため、国土交通省より発出された技術的助言を踏まえた手数料の改定を重ねてお願いするとともに、その状況についてご教示頂きたい。

【住】 2月議会での条例改正を目指し、手数料見直しを財政課と協議中。金額は今のところ示せないが、引き続き財政当局と協議を進める。

## 議題(3) PFI事業について

WTO調達未済の案件については基本的に県内事業者によるPFIとし、「県営住宅上栗島団地建替事業」においては二段階選抜及び参加報酬について当協会の意見を反映頂き感謝する。

しかし、会員には依然として参加のための負担が大きく、多数

の会員の参加が望めない状況であり、可能な限り従来の発注方式として頂きたい。

やむを得ずPFIとする場合は、引き続き関係団体と協議し応募条件の緩和や選考方法の簡素化などで参加しやすいPFIとしてもらいたい。

【営】 県議会議論及び協会を含めた事業者団体からの意見を踏まえ、昨年度、WTO調達未済の案件について、基本的に県内事業者に限定した鳥取方式ローカルPFIの導入や、設計事業者の負担を低減するために、二段階選抜及び参加報酬の支払い制度を導入した。

国は、PPP/PFIを各種交付金の交付要件とするなど、各種誘導策を講じており、本県においても、極めて厳しい財政状況の中、一定額以上の公共施設整備事業については、PPP/PFIの活用を検討し、有識者や事業者の意向聞取等を経て総合的に判断している。

現在、鳥取方式PFIとして実施中の上栗島団地整備事業への参画状況等も注視し、今後もPPP/PFI推進地域プラットフォーム等における情報共有や、民間事業者からの意見等も参考にし、県内事業者の参画しやすいPPP/PFIとなるよう協議を行っていく。

【協】 県西部でPFIに参画したが、県の協議先が建築関係技師でなく物事が進まなかった。要求水準については時代遅れ部分もあり、一步踏み込んだチェックをお願いしたい。

【営】 上栗島については、営繕課が主体的な協力をしていく予定。

要求水準は住宅政策(主管課)が外注により整備基準をもとに作成しているところ。

【協】 町村でもPFI事業が出始めているが、事業が通りやすいということなのか。

【県】 交付金がたくさんもらえれば事業実施は通りやすいと思われる。

【協】 協会としては反対であることを理解いただきたい。鳥取ローカル方式についてはいろいろ考えて頂きありがたいと思っており、今後もよろしくお願ひしたい。

## 議題(4) 業務期間の確保について

2024年4月より、「働き方改革関連法」に基づき建築士事務所においてもノー残業デイの実施や休日の確保を行っており、実働

日数の減少が生じているため、余裕をもった業務期間の確保と県内自治体間の発注時期の調整をお願いする。

【県】 過去実績に基づき規制を勘案して期間を設定しており、余裕のある設定となっていると認識。今年度より初回打ち合わせ時に履行期間の確認も行っているところ。実際の業務において、期間の不足について具体的な話があれば、今後検討していきたい。

また、発注時期の分散等を進めているが、予算期までの概算工事算出は理解いただきたい。

自治体間の発注時期調整については、県内4市との意見交換の際に議題としたい。

【協】 ブロック内の国、県、市町村が工事発注時期を同一DBにて管理するとの情報を聞いたことがあるが、設計等についても検討いただくとともに、早期の発注と発注量の増加をお願いしたい。

#### 議題(5)調査業務の発注方法について

以前にも外壁診断等の業務においては仮設分離発注をお願いしたが、仮設設置が本来の業務とは考えられず、工事と同様に一定規模を上回る仮設の分離発注の検討をお願いする。

【県】 仮設足場は、業務を成立させるために副次的に必要なもので調査内容に影響し、かつ業務受託者が安全管理する必要があり、分離発注は現実的ではないと考えている。

【協】 実際のところ1,000万円で業務を受託し足場代が800万円といったことが起きている。Aランク業務の場合は、特に仮設費率が高く状況が顕著。

実際には、ほとんどが手運びであったり、庇等で2重足場が必要などの状況が生じている。設計時には専門業者による見積をお願いする。任意仮設的に捉えられると困る。

【県】 設計積算の方法については検討する。

#### 議題(6)予定価格事後公表となる業務発注について

現在、予定価格が800万円を超える事後公表発注では、仕様の詳細が不明で設計事務所側での積算との乖離が生じている。

内容が明確に判断できる仕様書及び内訳書にさせていただき、足場費等の設計計上額については、工事の特記事項説明書と同様に金額の明示をお願いする。

【県】 仕様書の記載は、指摘を真摯にとらえ工夫をしたい。足場等の費用については、事後公表資料等を参照すれば乖離は生じない。また、工事の特記事項説明書は、例えばコンクリート殻の再資源化施設への搬入を確実にするため掲げている。

【協】 協会員が最も困っているのは足場なので、議題(5)も含め工夫をお願いしたい。

【県】 協議により変更等柔軟に対応していく。

## 5. 鳥取県からの提案議題

(1) 計画通知書等の公印省略について

【営】 建築基準法第18条第2項の規定による計画通知書などは押印が不要だが、省略可能であっても県内部の決裁手続きは必要であり、決裁を確認した上で、提出のこと。

【協】 会員へ周知する

務の中に適法状態の確認を入れることはない。(確認申請業務の範疇)

【協】 診断業務で明らかに大規模修繕が必要なとき、建築主にいつ伝えるのかは重要。耐震改修も進まなくなる要因となりうる。

【住】 最終形はわからないが、検討していきたい。

## 6. 鳥取県からの情報提供

(1) 技術者状況調査における「修正報告書」の電子申請対応について

【営】 建築関係コンサルタント業務に係る技術者の保有状況の変更(技術者の増減)があった場合の届け出について、この度「とっとり電子申請サービス」による提出フォームを設けた。

(修正報告書ページ:<https://www.pref.tottori.lg.jp/227999.htm>)

(2) クラス毎のバランスの取れた発注について

【協】 今回議題としていないが、発注クラス分けについては依然として課題と認識。協会の希望はバランスの取れた発注であり、工夫は見えるがそろそろ対応が必要な時期と思料。

【県】 従来からお互いの課題。来年度から委託料も上がるので、状況を見ながら協議・検討する。

以上

## 7. その他

(1) 改正基準法における木造耐震改修の扱いについて

【協】 来年度の改正基準法によりリフォームも確認申請が必要となるが、壁面の過半が改修となる場合なども必要となるか。

【住】 原理原則としては必要。

【協】 確認が必要なために改修ができない場合が特に郡部で発生するのではないか。

【住】 現状が適合状態か報告を求めており、それに対して要な是正は生じる。既存不適格を全部適法にすることではない。なお、リフォームは省エネ法対象外。

【協】 増築等を繰り返し違法状態となった民家が多いが、これが足枷となりリフォームをやめるケースも出てくると思われる。

【住】 県も課題と考えており、国も同様に認識。今後マニュアル等が示される予定だが、詳細は未定。なお、耐震診断業

# 旭日双光章を受章して

(有)フジ総合設計事務所

代表取締役 藤井 泰徳 氏

令和6年春の叙勲にあたり、栄えある「旭日双光章」を受章することとなりました。この場をお借りしまして会員の皆様にお礼申し上げます。この度の受章につきましては「青天の霹靂」という言葉が正直な気持ちです。

ここで改めて勲章、褒章について調べてみますと、「勲章制度」は1875年(明治8年)に、「褒章制度」は1881年(明治14年)から始まり、以来140年以上続いているようです。その中の「旭日章」は六等級からなる勲章で、「双光章」はその中で五番目に当ります。対象者は「功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げたか」と説明してあります。

受章の連絡は4月29日の「昭和の日」にあり、伝達式は各省庁に分かれて5月13日に開催されました。国土交通省関係の受章者は283名で、その内「旭日双光章」は34名でした。功労者の概要としましては、鉄道・航空・造船関連や建築設計、建設業、土地改良区、不動産関係等様々なジャンルの方が、受章されました。右上の写真は、東京ドームホテルでの受章式が終わった後の様子です。日事連のスタッフの方に撮っていただきました。

この後、同じ会場で「菊の紋」をあしらった昼食を頂きました。暫く休憩のあと、午後1時半頃だったと思いますが、皇居への移動となりました。受章者と配偶者、国交省のスタッフを含めて総勢約500名となりますので、バス13台での移動となりました。

「坂下門」に到着しますと、すでに各省庁のバスが数十台順番待ちで待機していました。坂下門は皆さんご存知の通り一般参賀の時の入場となる門で、現在、秋の紅葉の参観のため「乾通り」が一般公開されている所です。門を通り抜けると、50台以上のバスが並んでいました。

天皇陛下との拝謁は、一般参賀の時に皇族の方々がお立ちになる、あの広いガラス張の後ろの大広間で行われました。待つこと30分、天皇陛下がご入場になり一同起立してお迎えしました。

約5分程度だったと思いますが、お祝いの言葉を受け賜り、その後数名の方にお言葉を掛けられ、一礼して退室されました。拝謁終了後は、



宮殿内で記念撮影を行い終了となりました。

去る8月30日、(一社)鳥取県建築士事務所協会、(一社)鳥取県建築士会の発起人の元に倉吉シティホテルにて盛大な祝賀会を開催して頂きました。台風の接近や時の政局の状況等で国会議員の先生方、知事様の出席はかないませんが、それぞれの代理の方や中部の市町村長様の全員出席を頂きありがとうございます。更に、会員の皆様には過分なるお祝いの言葉、お祝金を頂きこの場をお借りしてお礼申し上げます。

この度の受章につきましては、協会、士会並びに会員の皆様、関連団体のご支援、多くの友人、知人、家族に支えられての賜物と、重ねて感謝申し上げます。

さて、我々建築士は常日頃から安全・安心な建物を心がけているわけですが、自然の力の前には無力です。温暖化の影響による集中豪雨、全国各地を揺るがす地震、予測はできても防ぐ事のできない自然の脅威です。これからも微力ではありますが安全・安心な建物の整備等に係わっていきたいと考えています。

皆様の益々のご健勝、ご多幸を祈念してお礼の御挨拶とします。



令和6年度

# 日事連年次功労者表彰

(株)エクス・プラン

取締役会長 守山 康仁氏



この度、(一社)日本建築士事務所協会連合会より2024年10月11日に開催された第46回建築士事務所全国大会福井大会において年次功労者表彰をいただきました。

平成21年度から現在まで15年間理事として運営に携わったことや、平成17年度から現在まで会長を務める(一社)鳥取県設備設計事務所協会との円滑な業務連携を進め、県内建築設計事務所の発展に貢献した業績を評価していただいた事と伺っています。

井手添誠会長より『現在も本単位会の理事の役職にあつて、その事業運営及び協会活動に積極的に関わるとともに、他の建築関係団体等においても指導的な立場にあつて常に相互の情報交換及び共通の課題解決の推進に努めることにより、協会及び地域の発展に尽くした功績は多大であると認める』と言う有り難いお言葉をいただき、身に余る光栄と感じています。

今後も微力ではございますが(一社)鳥取県建築士事務所協会の発展と(一社)鳥取県設備設計事務所協会の橋渡しの一役を担うことが出来ればと考えています。

また、全国大会に参加された鳥取会の皆様より、お祝いの記念品を頂いたことに厚く御礼申し上げます。



# 令和6年度 住みよい県土づくり表彰

(有)望月建築設計事務所

取締役 西村 純一氏

このたび、本年度から新たに創設された「鳥取県住みよい県土づくり優良業務表彰(建築設計部門)」を頂き、誠にありがとうございます。初代受賞者としてこの栄誉を受けることができ、大変光栄に存じます。

今回の表彰は、我が社の力だけでなく、協力会社(構造・設備など)が一丸となって取り組んできた努力の結晶であり、地域社会に貢献できたことを非常に嬉しく思います。普段から業務に手を抜くことなく、施設利用者だけでなく、工事施工者などにとって易しい設計を心がけていることが評価された結果だと感じております。これからも、難易度が増していく建築設計に対応するため、協会会員事務所として恥じないよう、より一層の努力を重ね、皆様の期待に応えられるよう努めてまいります。



(有)福田設備設計

代表取締役 福田 洋之氏

この度、「鳥取県住みよい県土づくり優良業務表彰(設備設計部門)」受賞の栄誉を賜り、誠にありがたく存じます。身に余る栄誉を受けまして、喜びと、これから果たすべき役割の重責をひしひしと感じております。

これも日頃より、皆様方のご支援・ご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。設備設計は、建物の快適性や機能性・安全性・利便性は勿論、とりわけ環境・省エネルギー性能には特段の配慮が求められるようになってきており、多岐にわたる要素を考慮しながら対応していく必要があります。この受賞を良い機会とし、より一層の成果をお届けできるよう努力すると共に、建築設計・設備設計の発展に微力ながら尽力してまいり所存であります。



令和6年10月10日(木)～10月12日(土)

1日目

朝6時、貸切バスにて米子発、倉吉、鳥取に乗りあつて総勢24名で9号線、北近畿、舞鶴若狭、北陸道経由、福井県に向かう。

旅の安全を願って昼過ぎ、敦賀という県庁所在地でもない場所にありながら、日本三大鳥居を持ち、北陸道総鎮守という存在でもある気比神宮に参拝。私は三大鳥居の一つと、あとで知った。



気比神宮

福井県の観光地と言えば東尋坊。今回は30分ほどの遊覧クルーズが予定しており、崖を下って全員クルーズ船に乗って、あの25mの断崖絶壁を見上げる。出航、今日はベタ凧。ライオン岩、ろうそく岩、岩軍艦岩と奇形の島岩、傾斜した安山岩の柱状節理など船上での小針ガイドさんは説明が軽やか。確かに観光遊覧船で東尋坊と雄島の絶景はよかつた。

夕方には福井市内のホテルへ、近くの「やなぎ町」日本料理・懐石にて宴会。福井食べ尽くし内容なら我が地に軍配を上げる。その中、令和6年度、日事連年次功労者表彰の守山氏を参加者、みんなでお祝い。日本酒を交わしながら宴会の時は過ぎて行きました。そして閉会。



夕食 柳月亭

2日目

この日も快晴。市内から県立恐竜博物館に貸切バスにて直行といっても40、50分は掛かつた。近づくに連れて巨大な恐竜のオブジェが至る処にあり、銀色に輝く金属板張りの卵型ドームの遠くから見てもとてつもなく大きな建物が目を引く。

2000年に竣工した本館と2023年に増築された新館のほか、2014年に屋外に設けられた野外恐竜博物館などがあり、本館1階には恐竜の全身骨格化石がある。展示室は長径84m、短径55m、広さ4500㎡、天井の高さ約37mのドーム型の巨大な無柱空間となっている。恐竜の全身骨格化石は2023年のリニューアルで44体から50体に展示数が増やされた。この中には、福井県で発掘された5種のうち復元された全身骨格もある。世界三大恐竜博物館、ロイヤル・ティレル古生物学博物館(カナダ)・自貢(じこう)恐竜博物館(中国)・そして福井県立恐竜博物館だそうです。敷地面積：約30,000㎡、床面積約15,000㎡設計は黒川紀章氏。「福井県といえば恐竜ですよ。」と圧倒されました。



恐竜博物館

場面変わって、名刹、曹洞宗・大本山永平寺の見学。山裾に建つ、七堂伽藍と呼ばれる、禅の思想に基づいた荘厳な建物の数々や、それらをつなぐ手入れの行き届いた木肌は優しい風合いで、柔らかな自然光が差し込む階段状の回廊、現役の修行道場ならではの静謐(せいひつ)な雰囲気垣間見ながら770年以上の歴史を感じる。



昼食 永平寺 ほつきよ荘

門前町での昼食後、福井市立美術館に移動。

1996年竣工、敷地面積：34,113.77㎡延床面積：5,262.84㎡、この設計も黒川紀章氏。建築物は正面から見るとこじんまり見えるが、平面は3つの円がアメーバのように結びついたかのような形状と離れにもう1つ置いたかのような形をして、外観も傾斜、グネグネした曲線のカーテンウォールが続く。中に入って、島根県津和野町、安野光雅美術館コレクション特別展示を見るが、展示室の奥行の深さに驚く。



福井市立美術館

第46回建築士事務所全国大会は15時、会場(フェニックス・プラザ)に到着し、大会式典に参加、日事連建築賞のパネル展示を見るが、珍しく日建の名前がない。福井県建築士事務所協会員の作品も展示してあり良かった。15時30分から17時まで大会式典、1年前のことを思い出した。月日が経つのは早い。

用意されたバスに乗って、駅前の再開発ビル内のコートヤード・バイ・マリオット福井にて記念パーティに限定者のみ参加した。20時頃にパーティは終わって福井駅に立寄る。恐竜のオブジェがライトアップしてあり「福井県＝恐竜大国」で観光アップか。新幹線が繋がると人の流れが違う。連休前の夜、駅舎内外に人が沢山。土産品を見定め購入し、繁華街にあるホテルまで歩く。その後繁華街で福井の街を調査しその日は終わる。話変わって、福井県立大学に恐竜学部が出来るらしい。学部施設の設計は記念式典前の基調講演の隈研吾氏による。また県立恐竜博物館の隣に建設予定ともあとで聞いた。



全国大会(フェニックスプラザ)



全国大会上野会長挨拶



全国大会記念パーティ

### 3日目

9時前に一乗谷朝倉氏遺跡博物館の駐車場に到着。恐竜時代から戦国時代にタイムスリップか、「朝倉氏は現在の兵庫県養父(やぶ)市出身の豪族で、南北朝時代に朝倉広景が主人の斯波高経(しばたかつね)に従って越前に入国しました。朝倉孝景の代、1467年の応仁の乱での活躍をきっかけに一乗谷に本拠地を移し、斯波氏、甲斐(かい)氏を追放して越前国(えちぜんのかに)を平定しました。以後孝景(たかかげ)、氏景(うじかげ)、貞景(さだかげ)、孝景(たかかげ)、義景(よしかげ)と5代103年間にわたって越前国の中心として繁栄し、この間、京都や奈良の貴族・僧侶などの文化人が訪れ、北陸の小京都とも呼ばれました。しかし天下統一の戦いの中で1573年織田信長に敗れ、朝倉氏は滅び、城下町も焼き尽くされました。また、一乗谷は、福井市街の東南約10kmにあり、戦国大名朝倉氏の城下町の跡が、良い状態で埋まっていました。遺跡の発掘調査は、1967年から進められ、1971年には一乗谷城を含む278haが国の特別史跡に指定されました。」

博物館は令和4年10月開館、竣工は1年前、内藤廣氏設

計の外部はチタン合金板に覆われ大なる切妻屋根と連続する小なる切妻屋根が特徴の建築物。内部は県産の杉板張りとコンクリート打放しが綺麗だ。螺旋階段、2階展示室のスチール手摺の黒グレーの質感、連格子の軽やかさは脳裏に残ります。床面積5,281㎡、計画開始後に発見された大規模な石敷遺構を展示する空間を設けるためにRC造とS造の混合した構造となっています。金箱構造設計事務所HP文章参考



一乗谷朝倉氏遺跡博物館

見学が終わると近場にバス移動し、復元街並を見学。歩くと汗ばむ日、路地に立つ行商衣装の人と話を聴きながらお茶を頂く。ちょっと一息、また見学、連休のためか、あちこちでテント張りのイベントの山。1時間ほどで見学は終わった。

昼食に鯖江市に向かう。メガネを造る時間があるかと聞いたら、コースに入っておらず残念。昼食は期待していなかったが、訪れたそば処「聴琴亭」は思いもよらぬ長屋門から入って総ケヤキ造りの古民家にて、そば御膳の舌づつみ。600坪の広大な屋敷に落ち着いた庭園を楽しむ。一日目のバスから減反そばの花を見て福井そば？やっとな蕎麦らしい蕎麦を食す。



昼食 鯖江市聴琴亭

今回の研修の締め括りは福井県年縞博物館、設計は内藤廣氏による。敷地に近い水月湖の湖底に堆積した7万年分の縞模様の地層「年縞」を展示するための博物館およ

び関連研究施設。3棟からなり、博物館は45mに及ぶ年縞を展示するため、細長い平面形状となった。1階はピロティとし、2階に展示室を配している。延べ床面積1,779㎡。1階はRC造のピロティでスパンの大きい柔らかいフォームのコンクリート打放しが非常に綺麗に仕上がっている。2階は対照的に木造空間がイメージされ、鉄骨部はボーリングのパイプのイメージしたトラスも使用され、上下階で大きく構造形式が異なる。鉄骨部材を介して木造の切妻屋根を支えている。屋根は県産のスギ材による登り梁を並列して配置するシンプルな架構のようだ。一乗谷朝倉氏跡博物館、年縞博物館、いずれにしてもディテールが非常に美しい。私ごとやかく書くのもおこがましいのですが切れ味が鋭い設計です。

「年縞」という言葉は聞きなれない人も多いかと思いますが、毎年湖の底に積もっていく堆積物の事で、三方五湖の一つである水月湖には、様々な環境要因が重なった結果、奇跡的に7万年の間、深さ45mに渡って、プランクトンや鉄分、湖周辺の花粉や飛来した火山灰や黄砂、洪水の土砂などが途切れることなく堆積し、それが縞模様になって残っていました。関係者の尽力でその完全な発掘作業に成功した水月湖の年縞は、年代決定の世界標準のものさしに採用され、世界の歴史、考古学に欠かせない役割を担うまでになっており、この奇跡の年縞を世に広く知らしめるため、2018年9月にこの年縞博物館が開館しました。



福井県年縞博物館

(以上、年縞博物館解説書より一部抜粋) 見学が終わると、舞鶴若狭道、中国道、鳥取道、山陰道を経由し、最終地米子市に帰路。杉本(ドライバー)、松本(ガイド)、杉本(添乗員)3名の方々のお世話になり安全・快適な貸切バスによる福井全国大会参加及び名建築の見学研修は終わることが出来ました。

(文・川中節男)

# 建築士事務所 全国大会青年話創会報告

青年部準備会リーダー 小谷 真一

青年話創会は大会式典の前日に行われ130名以上の方が参加されるなか昨年の鳥取大会のお礼も兼ねて総勢6名で参加してきました。

今回のテーマは「青年世代(われわれ)がつくるこれからの働き方」で「働き方改革の実施の有無」について意見を交換してきました。

都市、地方、大規模、小規模、代表、役員、社員、男性、女性と様々な立場での意見により活発な議論が行われ同世代の考え方や取り組みの実例を聞くことができ参加者にとっては今後の事務所運営にあたって参考になったと思います。

その他各ブロックの活動報告が行われ、昨年からの動きや今後の中四国ブロックの活動の展望について報告を行いました。

続けて行われた懇親会では全国の方々と交流を行いました。鳥取大会へ参加していただいた方と再会を喜び、初めて会った方とも親交を深めることができ、今後も全国へと交流を広げてゆく機会となりました。



## 福井大会 女性交流会2024に参加して

安谷 潔美

10月11日10時から12時30分まで、フェニックスプラザ3階にて昨年に引き続き女性交流会が実施されました。目的は正会員事務所に所属する女性同士の連携と交流を目的とし、女性の視点で「働き方、暮らし方」を考え次世代に夢を託し、活気ある未来の建築士事務所活動の一助を目指すものでした。

冊子には、参加者の写真や経歴などが記載された名簿が掲載され、個人情報に厳しい世の中に反していますが、交流を深めるには助けになりました。

最初に石川会理事 永井奈緒さんの事例発表を聞いた後、昨年に引き続きワールドカフェの手法を用いて、交流会を行いました。

永井さんの発表は、地元へ帰省してから現在までの体験談で、両親が蕎麦屋を営み引退しようとしていたところ、空き家をリノベーションし、そこに両親の蕎麦屋と事務所を構え、行列の出来る蕎麦屋と店舗設計に強い事務所として顧客を獲得したという体験談でした。

その後、あなたにとって「次世代を生き抜くには」あなたが「考え、できること」と題し、ワールドカフェを行いました。各テーブルで自由に話し模造紙に書き込んでいく。そしてテーブル席をチェンジして、違う相手と話をするというものです。

女性は話し好きですから、漠然としたお題でも時間不足で話しが足りず、楽しく交流をさせていただきました。働き方暮らし方に対しては、年齢層によって意見色々ですが、一部紹介させて頂き報告いたします。

- 女性も、色々な思いをして仕事をしている。だから寄り添える仕事ができる。
- 人生の苦勞は建築に繋がる。
- 学生時代は男女半々なのに、社会人になったら女性はどこに行ってしまう？
- 事業継承は出来る人がやればよい。

文章にすると簡単ですが、女性だからこそ理解できる家庭子育て介護など、深い意味を感じます。

勉強になりました。来年度も新潟大会を楽しみにしています！





## 道の駅ほうじょう



### 概要

道の駅登録から30年以上が経過し、施設の老朽化や来場者の減少等、様々な課題が生じていた道の駅北条公園を、「道の駅ほうじょう」として地域の新たな賑わいを創出する拠点に生まれ変わる計画である。

もともと国道9号を挟んで、北側のキャンプ場エリアと南側の物販・レストラン・トイレエリアとで運営されていた道の駅北条公園であるが、今回、国道9号の下り車線側にある南エリアは、既存施設をすべて解体、敷地を拡幅し、産直物販・レストラン・情報発信休憩コーナー・24時間トイレ・キッズコーナーを設けた駅舎棟と防災倉庫のある付属棟を整備。上り車線側の北エリアは、

既存施設を上手く利用し情報発信休憩コーナー・24時間トイレのあるトイレ棟、キャンプ場内に雨の日でもバーベキューが楽しめる半屋外のバーベキュー棟を整備した。



バーベキュー棟



トイレ棟（施工中）



鳥瞰

設計趣旨

道の駅ほうじょうのメインとなる南エリアの外観は、北条砂丘の自然や地元の特徴ある農産物から連想される大地につながる緩やかな曲線とし、オリジナリティが溢れ、人々を包み込むような優しさを感じる道の駅としている。建物は大きく2つに分かれており、道の駅本体の駅舎部分、防災倉庫とハートフル駐車場のある付属棟からなり、一体に見えるよう曲線が連なるデザインとし視認性と利便性を高めている。駅舎部分は、アイキャッチとなるガラス張りの塔屋の下にメイン入口がある中央棟、産直物販やレストランのある東棟、キッズコーナーや休憩ラウンジ、24時間トイレのある西棟の3つからなっており、プラン的には一体化されている。東棟と西棟は木造、高さのある中央棟は鉄骨造で塔屋の南側にはキュービクルや非常用電源等の設備機器が配置されている。



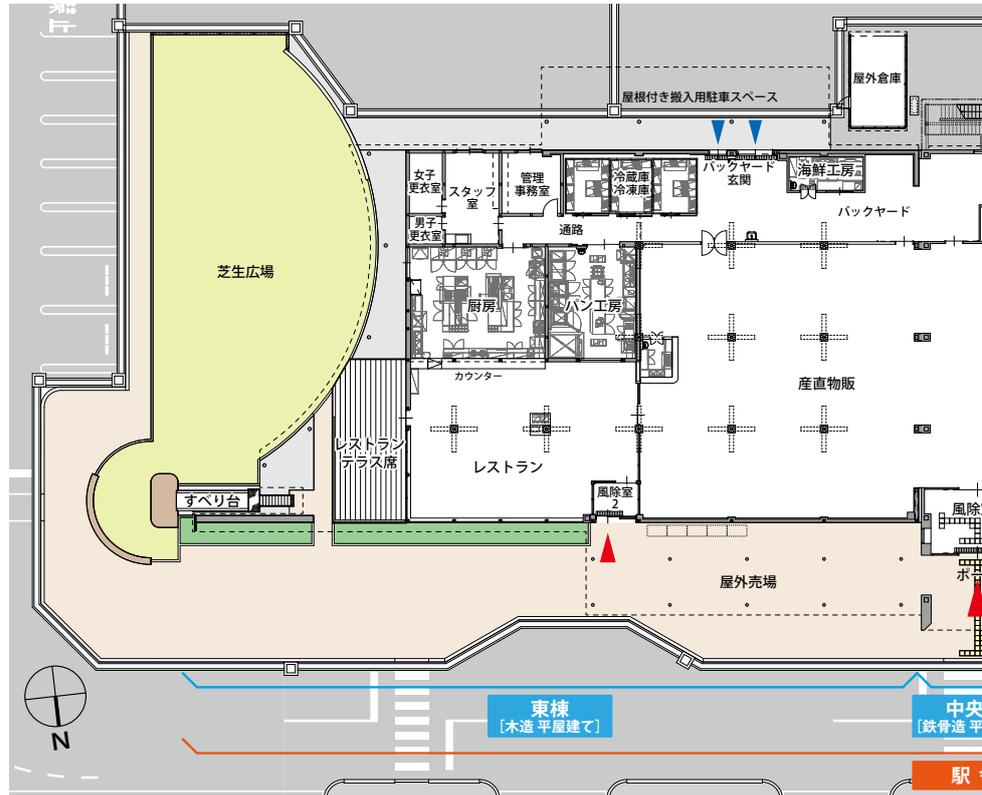
北側外観 大地につながる緩やかな曲線



屋根の緩やかな曲線を感じられるレストランテラス席



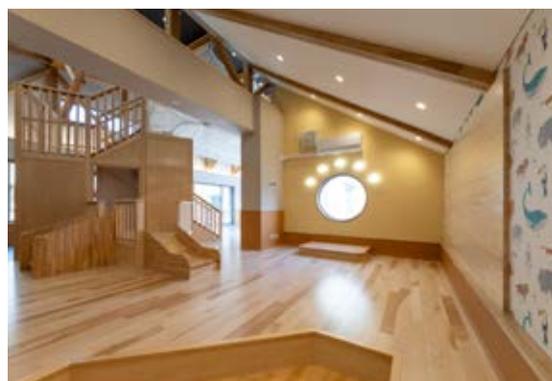
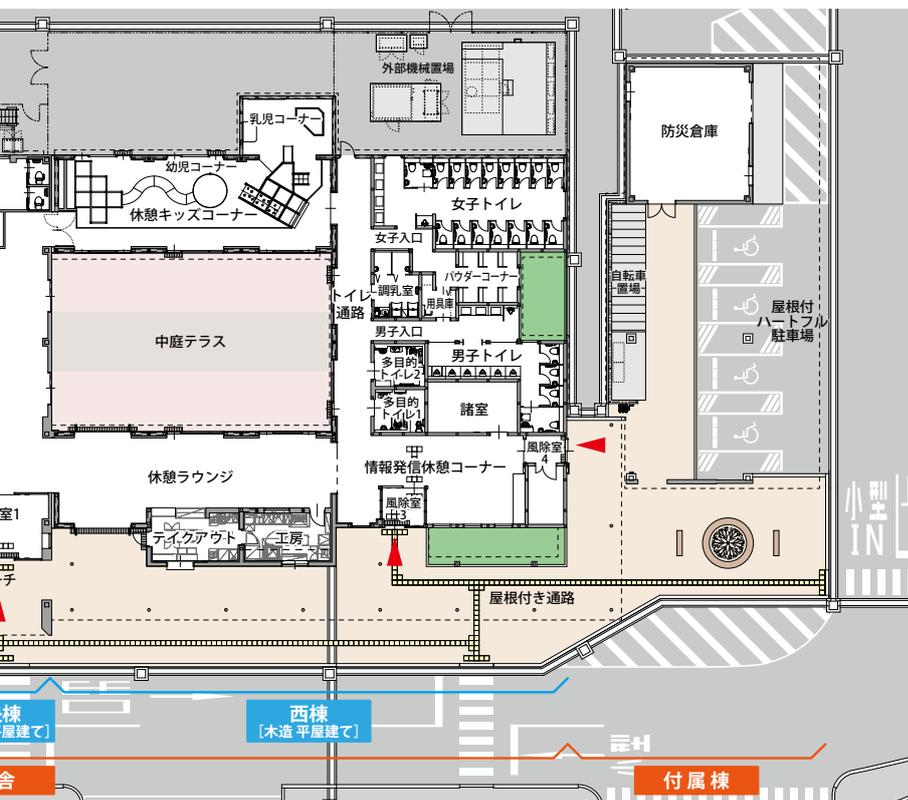
屋根勾配に合わせたすべり台



レストランから産直物販を望む



産直物販の奥にレストランが見える



安心して遊べる乳児コーナー 手前の掘り込みはボールプールとなる



雨の日でも思いっきり遊べるキッズコーナー



分かりやすいサインのトイレ通路



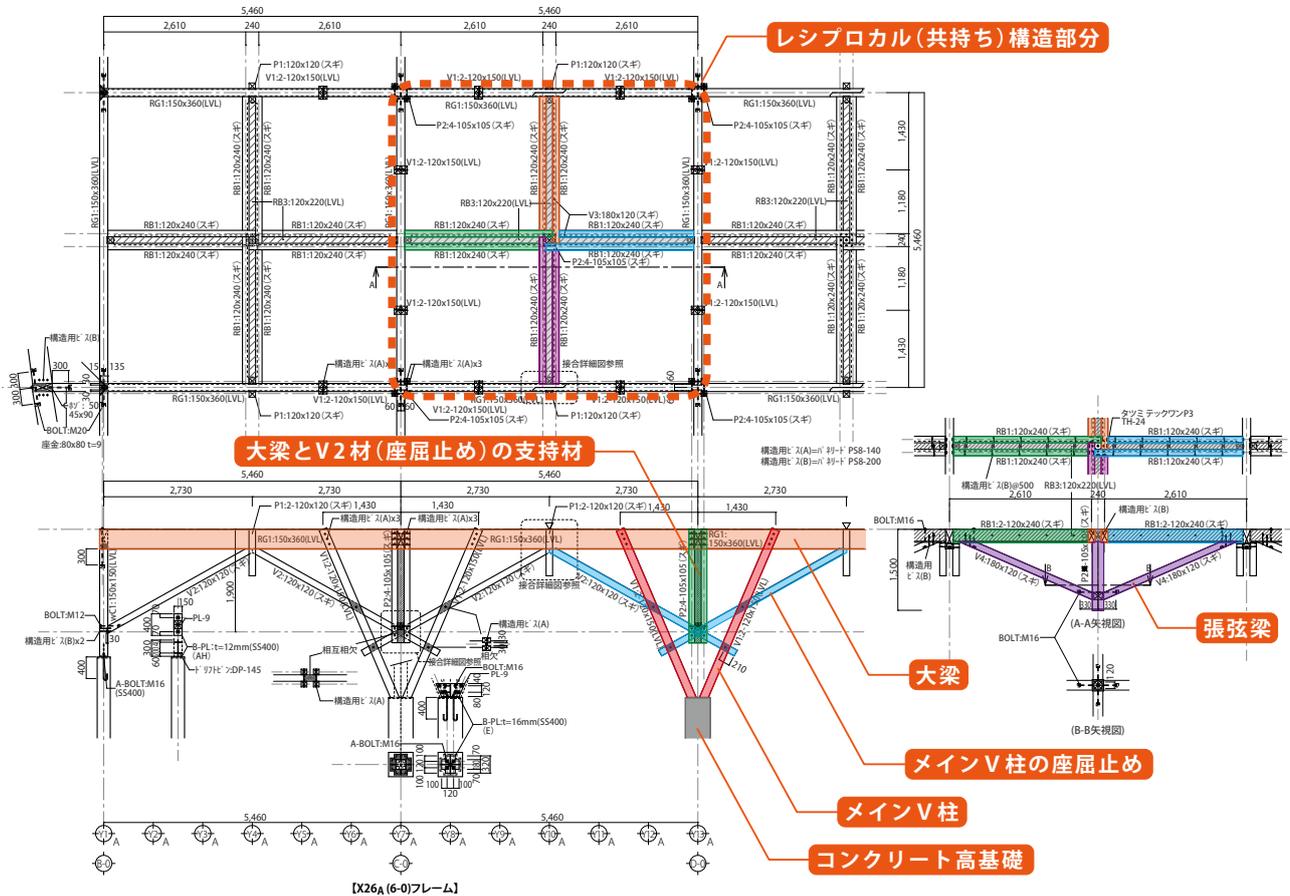
開放感のある休憩情報発信コーナー

構造計画・構造設計

道の駅の中心的な用途となる東棟の産直物販は、外周部の垂直の柱・斜め柱・大梁に LVL、それ以外の部材は県産スギを用いており、樹状V柱立体トラス構造で構築されている。コンクリートの高基礎から斜めに伸びる LVL の合わせ材、その間から角度を広げて伸びる製材が樹木を連想させ、一見複雑に見える構造はシンプルに力が伝わる形となっている。斜め材で囲われた天井の梁はレシプロカル（共持ち）構造と張弦梁の組み合わせで、適材適所に最小限の材で大空間を構成している。キッズコーナーと休憩ラウンジは片側から伸びた斜材によるシンプルな構造とし、屋根のやわらかな曲線が斜材の角度の変化に表れ、独特の雰囲気醸し出している。また、構造躯体は 45 分準耐火燃えしろ設計となっている。



シンプルに力を伝える木構造



木々の広がりのように見える構造材



休憩ラウンジ 左手にテイクアウト、右手に中庭、奥に産直物販が見える

## 木材調達

中大規模の木造建築を成功させる鍵は、必要な木材を滞りなく調達できるかにかかっている。木材は、町の意向で鳥取県中部を中心とした地域産材の活用が求められた。木材調達については、工事発注後に施工業者の方で調達するには難しい数量であることが想定されたため、町と協議を行い実施設計完了時から建方までの約1年間で事前調達を行い現場支給する計画とした。加えて、本物件は燃えしろ設計を採用しており、含水率15%以下の製材(SD15)を使う必要があった。設計段階で、鳥取県内の製材業者、プレカット業者の調査・把握を行い、SD15の材を調達するための体制づくりから始めた。地元の森林組合や製材所、プレカットメーカー、行政機関と繰り返し協議を重ね、建方を見越した上での納品・検査時期を決定し、それに合わせた伐採数量・スケジュールを確定した。構造計画の段階で、使う製材寸法を最大で長さ4m、梁せい240mmといった一般流通材の寸法で計画していたため、もし仮に検査等で過不足があった場合でも容易に対応できるよう配慮した。今回最も気を配ったのが含水率15%以下の製材(SD15)の段取りであり、それに合わせた人工乾燥機の稼働日程及び乾燥スケジュールを作成し、日々の乾燥状態の確認方法や、全乾法含水率と木材水分計との関係の割り出し、乾燥後の製材品の養生の仕方など、検査・品質管理体制を整え、人工乾燥材の生産に向かった。その結果、質の高いスギのSD15を準備することができた。



伐採の様子



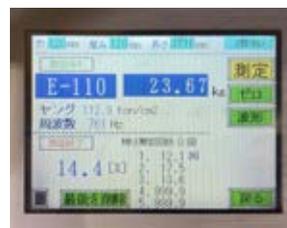
伐採後、山から運び出す様子



製材所の社内検査に合格した製材



全乾法による含水率の計測



ヤング係数の計測結果



高周波式木材水分計による含水率の計測



グレーディングマシンでのヤング係数計測



ナンバリングされストックしてある製材

## 森林認証

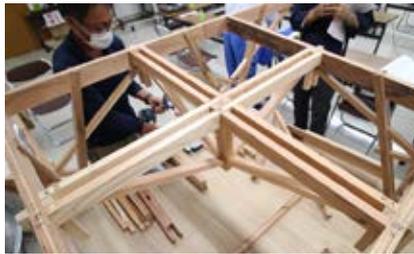
道の駅ほうじょうの建築にあたって、「森林認証材」を使用した。「森林認証材」とは、持続可能に管理された森林(FM(Forest Management))から出材した木材で、生産供給の過程でその他の木材と適切に識別(Chain of Custody)され、消費者の手元に届いたものを言い、森林認証材を使うことで、持続可能な森林環境維持を通じてSDGs全17項目の達成に貢献することができる。

この森林認証材活用の意義に共感し、建築に使用する木材の原木を森林認証材とする調達コードを設定。これにより、製材は北栄町を含む鳥取県中部1市4町、LVLは日南町の認証林から出材した原木が使われている。「原木」を条件としたことについては、鳥取県内において「FM」及び「CoC」の認証は普及途上にあり、製品までを「森林認証材」とすると、調達を困難にさせることが想定されたためである。その中でも、森林認証製品として認められた一部の製品を以って、森林認証材を使った建築物としてその認証を取得した。森林認証機関として、日南町森林組合等が加入する「FSC」と鳥取県中部森林組合等が加入する「SGEC」の二つがあり、「FSC」については既に実績があるが、「SGEC」については、鳥取県内で初めての試みである。道の駅ほうじょうが、今後の森林認証材の普及拡大に寄与することを期待している。



施工

本物件の構造の目玉である産直物販の樹状V柱立体トラス構造は、柱が斜めになっていることもあり、設計段階から施工の困難さが予想された。施工業者が決定後、1/10・1/5 模型が製作され、構造検討会議が開かれた。会議には意匠設計担当、構造計画・構造設計担当、施工業者に加え、実際に施工を行う現場大工も参加し、材を組む段取りや金物の納まり等、細かな部分まで打合せが行われた。1/5 模型については、製材部分は製材で、LVL 部分は LVL で作られており、施工業者・現場大工の本気度が伺えた。建方は、V 柱の立体トラス部分、レシプロカル（共持ち）構造と張弦梁の部分、それぞれを地組みで組み立て、クレーンで吊って組み合わせる方法が採用された。当初約 1 ヶ月を予定していた建方は、想定よりも順調に進み 20 日程度で完了した。これは梅雨時期にも関わらず天候に恵まれたこともあるが、何より事前の構造検討会議で設計意図を関係者みんなが共通認識として持つことができたこと、工事発注前に木材調達に着手し質の良いSD15の製材、LVLを滞りなく調達できたこと、そして何より施工業者の適切な段取りと現場大工の腕の良さによるところが大きかったと考える。



1	2	3
	5	
4	6	7
8	9	10

1：1/10模型。2・3：1/5模型で行われた構造検討会議の様子。分解して組み方の確認を行った。5～7：地組みされた構造材。4・8：クレーンで吊り上げ取り付けられる地組されたレシプロカルユニット。8～10：建方の様子。



- 名称 道の駅ほうじょう [南エリア]
- 住所 鳥取県東伯郡北栄町国坂 1525-92 他 8 筆
- 工期 令和 5 年 9 月～令和 7 年 2 月
- 構造規模 駅舎棟：木造平屋建て一部鉄骨造平屋建て  
付属棟：鉄骨造平屋建て  
自動2輪置場：木造平屋建て  
屋外倉庫：鉄骨造平屋建て

- 発注者 北栄町
- 設計監理 N S P 設計・アーク設計工房共同体
- 施工 建築：高野・共栄特定建設工事共同企業体  
電気設備：株式会社エナテクス  
機械設備：クラエー・晃進特定建設工事共同企業体  
太陽光発電設備：株式会社エナテクス  
外構：株式会社共栄組

- 敷地面積 16,306.82 m<sup>2</sup>
- 建築面積 2,020.93 m<sup>2</sup> [駅舎棟：1,714.56 m<sup>2</sup>，付属棟：267.51 m<sup>2</sup>，自動2輪置場：20.93 m<sup>2</sup>，屋外倉庫：17.93 m<sup>2</sup>]
- 延べ面積 1,979.61 m<sup>2</sup> [駅舎棟：1,658.70 m<sup>2</sup>，付属棟：275.91 m<sup>2</sup>，自動2輪置場：27.07 m<sup>2</sup>，屋外倉庫：17.93 m<sup>2</sup>]

## 有限会社 安本設計事務所



### 三朝町立三朝小学校(校舎棟)

建設地：鳥取県東伯郡三朝町本泉480-5他

構 造：鉄筋コンクリート造 3階建て

建築面積：3,270.29㎡

延床面積：6,707.50㎡

設計・意図伝達：安本・戸田設計特定委託業務共同企業体

監 理：フジィ・アーク・エクス・プラン特定委託業務共同企業体

施 工：建築主体(教室棟)：井木・高野・井中・藤原工・高野工特定建設工事共同企業体  
建築主体(管理棟・昇降口棟)：酒井・向井・共栄・河崎・河本特定建設工事共同企業体

電気設備：北村電気工業・山崎商会・新陽電気特定建設工事共同企業体

衛生設備：大和設備倉吉・足立水道設備特定建設工事共同企業体

空調設備：クラエー・早田設備特定建設工事共同企業体

## 株式会社 白兔設計事務所



### 1. 倉田保育園

工事名称: 倉田保育園改築工事  
所在地: 鳥取県鳥取市八坂169-1  
構造・規模: 鉄骨造 平屋建  
建築面積: 582.37㎡  
延床面積: 466.52㎡



### 2. 鳥取銀行鳥取西支店

工事名称: 鳥取銀行鳥取西支店新築工事  
所在地: 鳥取県鳥取市千代水4丁目67番地  
構造・規模: 鉄骨造 2階建  
建築面積: 777.42㎡  
延床面積: 1,326.58㎡



# 有限会社 ケーアイ建築設計



## 特別養護老人ホームしらさぎ苑

### 建物概要

- 島根県安来市
- 鉄骨造 2階建て
- 延べ面積 2,752.6㎡

計画地は清水月山県立自然公園内にあり、近くを流れる飯梨川から温泉も湧き出る自然豊かな環境です。

令和元年にユニット型特養に限らず従来型特養に改築するという方針のもと、設計から竣工まで3年をよりました。

外観は自然公園内の制限などもあり、勾配屋根として高さを抑え「スケールの大きな“住まい”」をコンセプトにしています。

1階の外壁は焼杉板をイメージし、2階部分は土色(アースカラー)、そして正面左の避難階段を隠した千本格子は“住まい”につながります。

内部は南北軸に廊下を配置し、1・2階に52の個室を並べ約20室ごとのケア体制としました。

内観は外観と同様に“住まい”をコンセプトに玄関から入って外壁から繋がる土色の壁、床は木質を連想するシート、基調となる薄黄色の壁とピンク色の壁。廊下末端からは外の気配が伺えるよう配慮しました。



## 株式会社 白兔設計事務所



### 1. 倉田保育園

工事名称: 倉田保育園改築工事  
所在地: 鳥取県鳥取市八坂169-1  
構造・規模: 鉄骨造 平屋建  
建築面積: 582.37㎡  
延床面積: 466.52㎡



### 2. 鳥取銀行鳥取西支店

工事名称: 鳥取銀行鳥取西支店新築工事  
所在地: 鳥取県鳥取市千代水4丁目67番地  
構造・規模: 鉄骨造 2階建  
建築面積: 777.42㎡  
延床面積: 1,326.58㎡



# 有限会社 ケーアイ建築設計



## 特別養護老人ホームしらさぎ苑

### 建物概要

- 島根県安来市
- 鉄骨造 2階建て
- 延べ面積 2,752.6㎡

計画地は清水月山県立自然公園内にあり、近くを流れる飯梨川から温泉も湧き出る自然豊かな環境です。

令和元年にユニット型特養に限らず従来型特養に改築するという方針のもと、設計から竣工まで3年をよりました。

外観は自然公園内の制限などもあり、勾配屋根として高さを抑え「スケールの大きな“住まい”」をコンセプトにしています。

1階の外壁は焼杉板をイメージし、2階部分は土色(アースカラー)、そして正面左の避難階段を隠した千本格子は“住まい”につながります。

内部は南北軸に廊下を配置し、1・2階に52の個室を並べ約20室ごとのケア体制としました。

内観は外観と同様に“住まい”をコンセプトに玄関から入って外壁から繋がる土色の壁、床は木質を連想するシート、基調となる薄黄色の壁とピンク色の壁。廊下末端からは外の気配が伺えるよう配慮しました。



マエタケンチク一級建築士事務所

## 前田 祐治氏

### はじめに

令和6年1月1日にマエタケンチクを開業致しました。開業を機に、建築士事務所登録を行い、令和6年度より入会させて頂きました。前職は、(株)井木組にて19年間、建築施工管理に従事しておりました。

建築という幅広い分野がある業務の中で施工管理の仕事は、とてもやりがいのある仕事だと感じています。発注者、設計・監理者、協力業者と力を合わせて工事を完成させ、そこに自分らしさを注ぎ込んで完成した建物は我が子と同じように愛着のあるものだと思っています。完成に至るまでの過程も含めて素晴らしい仕事であり、このような経験を積ませて頂いた(株)井木組には感謝しかありません。

### 業務内容

これを尋ねられると説明するのに苦慮するのですが、会社員として工事を行っていた経験を活かして工事が得意技ですと言っても建設業法違反をするわけにもいきませんし、独立したての個人事業主には社会的信用もありませんのでRC造やS造などの大型工事を請負うようなことは出来ませんし、ありません。

開業して1年を振り返ると、施工図や施工計画書作成、建築積算などや自ら建設会社に出向し、現場の施工支援を行うなどの建築生産分野のお仕事をさせて頂きました。工事請負の方は、住宅の改修、施設の外壁、防水、屋根改修などのご依頼を頂きました。

自分の財産は、施工の仕事で培ってきた『現場力』と協力業者様との信頼関係だと思っています。『手を変え、品を変え、自分に出来る職域の事は全てを行って業務を行う』をモットーに1年間なんとか走りぬく事ができました。

今後は『ひとり総合建設業』をテーマに、設計・施工で業務が出来るよう頑張っていきたいと思います。

### 建築との出会い

私は岡山市出身で、家業として建築業を営んでいた家庭の三男として生まれました。父も建設会社を退職し、小さいながらも設計・施工で工事を請負っていました。子供の頃、たまに父に連れられて現場の手伝い(?)などにいく事があり、建築現場に触れる機会があり、将来は自分も父のように建築の仕事に就き、家業を継ぐ事が夢でした。



現場でのワタシ

### 岡山～米子～新潟～倉吉

中学卒業後は親元を離れ米子高専建築学科に入学し、卒業後は、旧日本道路公団の関連企業に就職し、北陸支社勤務として新潟市で3年間過ごしました。

そんな折り、高専時代の先輩だった妻と結婚し、退職、妻の実家のある鳥取県倉吉市に婿養子としてやって参りました。

### 独立・開業

なんやかんやで40代になり、心の奥底にくずぶついていた『自分も父のように人生を生きてみたい』、『家業を継げなかった後悔』という気持ちと『独立してどこまでやっていけるのか?自分の力を試したい』というギャンブルをしています。

### 仕事以外

開業したてで仕事の事で頭がいっぱいですが…。

コロナ渦の際、飲みに出られなくなり、なんかおもしろい事はないかとDJコントローラーを購入しました。お酒を飲みながら曲をMIXしてひとりパーティーしています。マイクも購入しましたので各種催し物ありましたらご一報下さい。BGMは2000年代レゲエミュージックが中心です。



趣味のひとつ。DJブース

### おわりに

諸先輩方から多くの事を学びたいと思い入会させて頂きました。厚顔無恥に質問させて頂くこともあるかと思いますがご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

合同会社一級建築士事務所 山印

### 田中 浩二氏



1年半前に東京の設計事務所を退社し、Uターンして個人事務所を始めました。これまで設計業務と並行して地域振興の活動を行っております。大山を中心とした県西部の観光振興に始まり、教育問題へのアプローチ、また現在は地域創生のための新たな組織づくりを目指しています。日本海新聞に3回投稿いたしましたので、皆さまにはこちらをお読みいただくと幸いです。

#### 教育が鳥取の未来を創る

先日、2日間に渡って紀伊半島の山奥にある全寮制の学校「きのくに子どもの村学園」を見学してきた。この学園では子供たちの自主性と創造性を重んじ、学内や寮でのルールと授業の中身を子どもたちが自ら議論をして決めている。一方、国内の多くの教育現場では「決められた一つの答え」を強要され、生徒も教師もプレッシャーとストレスの中、教育の機能不全を発症している。大自然の中で子供も大人も生き生きと生活しているこの学園は問題の解決策を示していると感じた。

鳥取県が生んだ経済学者、宇沢弘文氏も晩年日本の教育を憂い、著書「日本の教育を考える」に綴っている。先生の定義する「農社」は、農業活動と自然の共生を実現するコミュニティだが、この農社と学校が強く結びついた新しい教育が提案できるのではないかと考えている。この構想は宇沢氏の教育哲学を実現し、地域社会と教育を結びつける試みでもある。昨今、地方は活力を加速度的に失い、鳥取は課題先進県ともいわれる。教育は次世代の育成に直結する。未来を担う子供たちに単なる知識の詰め込みではなく、人格の形成と社会的責任を自覚する教育を提供することが大人の責務である。他者と協力して問題を解決する能力を育むことが社会の活力を生む。幸いこの教育改革に共感し、共に取り組む仲間が増えてきた。教育は未来を創る最も重要な要素であると信じ、この挑戦を続けていく。

#### 「縮むことを恐れない」スマートシュリンク

最近、人口減少に取り組むため「スマートシュリンク」という考え方が話題です。これは悲観的な発想ではなく、地域の持続可能な発展を目指す戦略的なアプローチです。しかしコンパクトシティの推進や移住促進、子育て政策では根本的な解決になっていません。例えば地方都市が取り組んでいるコンパクトシティ構想は、都市機能を集約することで生活の利便性を維持することですが、人口減少のペースを考慮すると全ての地域に有効であるとは言い難く、今後は自治体を跨いだ県単位の抜本的な取り組みが必要です。さらに、中海圏で計画されている高規格道路の建設は、モビリティの自動運転化による車両数の減少を考慮せず、巨大インフラの保守保全の大きな負担を次世代に強いることとなります。山陰の強みを最大限生かしスマートな縮小を実現するには、地域資源や文化を活用した観光と教育に入れるべきです。特に観光業は地域経済を支える重要な柱となり、地域社会の基盤強化と人口流出抑制になります。また、DXの加速も大切です。遠隔医療やオンライン教育、リモートワークの普及により、人口減少が進む中でも住民が安心して暮らせ

る環境が整えられます。さらにあらゆる現場で問題の人手不足を補う為、外国人労働者受入の新制度も必要となるでしょう。彼らの待遇や社会参加、コミュニティの活性化などがポイントです。衰退を避けるためには「縮むことを恐れない」ことです。政治家や行政だけでなく、我々有権者も自分たち世代が勝ち逃げるのではなく、次世代の為にスマートな行動をとるべきです。我々の賢い選択が山陰に、日本に持続可能な未来をもたらします。

#### 地方創生2.0は「贈り物」

石破政権の目玉の一つである地方創生は、日本の地域社会に希望をもたらす政策として注目を集めています。昨年11月、私たちはこの鳥取から石破首相に具体的な提言を行いました。「地方創生の予算を倍増します」。多額の予算が地方に投入されることは一見すると明るい兆しに見えます。しかし様々な事業に対して補助金や支援策が講じられたとしても効果は限定的で、せいぜい10年から20年程度しか効能は持続しないのではないのでしょうか。ただの延命治療に成ってはいけません。このような状況を打開するため、私たちは「地方創生 commons」という新しいアプローチを提案しています。commonsとは50年前に経済学者の宇沢弘文氏が提唱した「社会的共有資本」を現代の社会に合わせて再構築するものです。農林水産業といった一次産業から、環境、医療、教育、観光に至るまで、鳥取の強みと課題を統合的に捉え、解決するものです。具体的には商品の研究開発やプロモーション、販路拡大といった共通の課題に対して、官民が連携し、最適な人材と資源を融合させる新しい組織形態を目指します。参考としたのはイギリスのLEP(Local Enterprise Partnership)という官民が連携した地方創生を目的とした組織です。2010年に始まったLEPは行政区の壁を越え、今では40のLEPがイギリス全土の経済圏をカバーしているといえます。地方創生2.0に求められるのは50年後の日本への贈り物となる事ではないかと考えます。すなわち従来の発想を超えた社会構造の変革です。commonsという新しい仕組みは、持続可能な地域社会の創造に向けた確かな一歩となると信じています。



教育改革のイメージです

#### 地方創生×COMMONS



- 地方創生×COMMONSの目指すもの「地方創生2.0」
- 宇沢弘文氏の提唱した「社会的共有資本」をアップデートし、持続可能な地方のあり様「地方創生 commons」を構築します。経済的豊かさを先におこなって社会を動かすのではなく、その中心の豊かさと生きがい、健康と調和ある社会を目指し、Well-beingで世界をリードしてまいります。
- 地方創生×COMMONSの基本方針
- ✓ 地方へピンポイントで、最大の効果を最大化
  - ✓ 地域の成長と調和のとれた持続可能な発展の確保
  - ✓ 規制緩和と規制緩和の促進
  - ✓ 高度な産業をコアとする強みと他の産業
  - ✓ コモンズ（公益）を人文化し、持続可能な未来へ
  - ✓ ICTを最大限活用し、遠隔で最先技術の導入と活用を促す
  - ✓ 地域創生と人材育成の一歩を踏み出す
  - ✓ 地域資源を活かした観光と教育

「地方創生×commons」を提案した資料の1ページです

山陰の建築を支える

# 1mmの 挑戦



そこに挑戦はあるのか  
何故そこまでののか、と誰もが言った。  
何故こだわるのか、と。  
諦めるのは簡単だ。逃げ出すのも簡単だ。  
私たちは物事を簡単には決してしない。  
それはプライド、そして今もなお進化する革新的な技術。  
1mmの挑戦を続ける。  
それが私たちエスイー鉄建株式会社米子事業所の理念です。



**エスイー鉄建 株式会社**  
国土交通大臣認定 Hグレード認定工場  
ISO9001取得

〒689-3224 鳥取県西伯郡大山町高田1151-7  
TEL 0859-54-6655 FAX 0859-54-6660  
MAIL [yonago.o@se-t.jp](mailto:yonago.o@se-t.jp)  
WEB <http://www.se-t.jp>



おひさまエコキュートと新料金メニュー「おひさまシフトコース」が登場したことにより、  
**お客様のライフスタイルにあわせたエコキュートと  
 料金メニューが選べるようになりました。**



## 昼の時間帯にご在宅など 昼間に電気を使うことが多い方

昼間の料金単価を安くしたい方



**おひさま  
エコキュート**

+

ぐっとずっと。プラン

**おひさまシフトコース**

**〈例えば〉**

- ・在宅勤務が多い。
- ・あまり外出もしないので、昼間電気を使うことが多い。
- ・フルタイムの仕事で退職したため在宅時間が長くなった。
- ・両親と同居で子供もまだ小さいので昼間家にいる時間が多い。 など





## 昼の時間帯はご不在で 夜間に電気を使うことが多い方

夜間の料金単価を安くしたい方



**従来型  
エコキュート**

+

ぐっとずっと。プラン

**ナイトホリデーコース**

or

ぐっとずっと。プラン

**電化Styleコース**

**〈例えば〉**

- ・昼間は共働きで仕事で家を空けていることが多い。
- ・朝のうちに洗濯・料理などの家事を済ませて、外出することが多い。 など



<お電話でのお問い合わせ先>

**中国電力株式会社 鳥取統括セールスセンター**

鳥取市新品治町1番地2 (0857) 36-7018

受付時間/平日9時~17時



鉄骨建築加工 【三方良しの企業を目指します】

# 株式会社 日伸建鉄

Mグレード認定工場

西伯郡日吉津村日吉津50-3  
TEL 0859-27-1802  
FAX 0859-27-1857  
HP <http://nissin-s.com>



ホームページ



日伸建鉄



地球、水、命、愛

水は全ての命の源です。  
石田コーポレーションはその源を原動力にします。



株式会社  
石田コーポレーション

本社	〒683-0804	米子市米原 8 丁目 1-32	TEL 0859-33-7339(代)	FAX 0859-33-6597
松江支社	〒690-0048	松江市西塚島 1 丁目 2-18	TEL 0852-23-3500(代)	FAX 0852-23-3504
倉吉支店	〒682-0017	倉吉市清谷町 1 丁目 171	TEL 0858-26-6251(代)	FAX 0858-48-9515
鳥取営業所	〒680-0942	鳥取市湖山町東 5 丁目 276	TEL 0857-28-2331(代)	FAX 0857-38-9515
出雲営業所	〒693-0005	出雲市天神町 159	TEL 0853-22-9000(代)	FAX 0853-20-0067

ホームページアドレス <http://www.ishida.ne.jp>

建設業 国土交通大臣許可（般-5）第 24963 号 宅地建物取引業 鳥取県知事免許（5）第 1224 号



## 株式会社モリックスジャパン

本 社 鳥取市商業町203-6

TEL 0857-23-3641 FAX 0857-22-3329

倉吉店 倉吉市幸町529番地

ユーミーレジデンス1-3号

TEL 0858-24-5451 FAX 0858-24-5452



## 会議報告

### ■令和6年度定時総会

日時/令和6年5月31日(金)14:30～  
 場所/倉吉シティホテル  
 出席者/会員37名、委任出席52名、欠席28名  
 議題/議案の審議  
 第1号議案 令和5年度事業報告  
 第2号議案 令和5年度収入支出決算承認の件  
 第3号議案 令和5年度特別会計(全国大会関係)収入支出決算書の承認の件(令和5年度監査報告)  
 第4号議案 令和6・7年度役員選任の承認の件  
 報告事項  
 令和6年度事業計画及び令和6年度収支予算(令和6年3月29日 理事会承認)

### ■令和6年度事業等監査会

日時/令和6年5月7日(火)11:00～  
 場所/事務所協会事務局  
 出席者/監事、会長

### ■第1回理事会

日時/令和6年5月17日(金)13:30～  
 場所/伯耆しあわせの郷  
 出席者/理事16名、監事2名  
 議題/議案  
 令和5年度 事業報告について  
 令和5年度 収入支出決算報告について  
 令和5年度 特別会計(全国大会関係)収入支出決算報告について  
 上記に係る監査報告  
 令和6・7年度役員改選について  
 正会員の入会の可否について  
 協議事項  
 委員長・副委員長会議の開催について  
 顧問・相談役の選任に係る対応について  
 中四国ブロック協議会青年部会に係る対応について  
 鳥取県住宅ストック性能向上コンソーシアムへの参画について  
 報告事項  
 藤井泰徳氏叙勲について  
 ポケット版会員名簿の発行について  
 令和6年度日事連建築賞について  
 鳥取県耐震ケースマネージメントの実施について  
 会議等開催状況  
 今後の日程

### ■第2回理事会

日時/令和6年7月2日(月)14:00～  
 場所/倉吉シティホテル  
 出席者/理事14名、監事1名  
 議題/議案  
 委員会及び部会の委員の選任について  
 賛助会員の入会の可否について  
 協議事項  
 令和6年度 委員長・副委員長会議の開催について  
 第46回全国大会(福井大会)、青年話劇会及び県外研修会の実施について  
 鳥取県感震ブレイカー普及協議会への参加について  
 報告事項  
 優良業務表彰制度の改正について  
 県有施設保全点検業務にかかる対象数量の拾い出し委託について  
 非常勤職員の採用について  
 会議等開催状況 他(5.17以降)  
 今後の日程

### ■第3回理事会

日時/令和6年10月29日(火)10:00～  
 場所/事務所協会事務局(Web会議)  
 出席者/理事14名、監事1名  
 議題/議案  
 令和6年度県との意見交換会議について  
 協議事項  
 木造住宅耐震業務料の改定案について  
 報告事項  
 日事連共同要望について  
 鳥取県耐震マネージメントの実施協力に関する協定について

木造耐震診断体制強化事業について  
 県有施設数量調査業務について  
 木の住まいフェア無料相談会について  
 住まいまちづくり協議会について  
 県外研修及び第46回建築士事務所全国大会(福井大会)の実施について  
 鳥取県感震ブレイカー普及協議会について  
 会議等開催状況(7.3以降)  
 今後の日程

### ■第4回理事会

日時/令和6年12月9日(月)9:30～  
 場所/事務所協会事務局(Web会議)  
 出席者/理事16名、監事1名  
 議題/議案  
 正会員の入会の可否について  
 協議事項  
 令和7年新年互礼会の開催について  
 年賀状の令和8年廃止について  
 報告事項  
 県との意見交換結果について  
 鳥取県耐震マネージメント(戸別訪問)について  
 木造耐震診断体制強化事業(建築士会受託)について  
 木造住宅耐震診断に係る労務量調査について  
 最新版建築工事特記仕様書のリリースについて  
 住みよい県づくり表彰について  
 会議開催状況(10/30以降)  
 今後の日程

### ■第5回理事会

日時/令和7年2月28日(金)10:00～  
 場所/事務所協会事務局(Web会議)  
 出席者/理事12名、監事3名  
 議題/議案  
 建築士事務所登録等事務規程の一部変更について  
 賛助会員の入会の可否について  
 協議事項  
 各単体会ホームページにおけるリクルート情報発信及び相互リンクについて

### ■第6回理事会

日時/令和7年3月28日(金)9:30～  
 場所/事務所協会事務局(Web会議)  
 議題/議案  
 令和7年度事業計画(案)の承認について  
 令和7年度収入収支予算(案)の承認について  
 定期総会の招集(案)について  
 協議事項  
 令和7年度日事連年次功労者表彰候補者の推薦について  
 報告事項  
 事務所登録のオンライン化の開始について  
 第47回建築士事務所全国大会(新潟大会)について  
 会議開催状況(12/10以降)  
 今後の日程

### ■第1回三役会

日時/令和6年5月13日(金)10:00～  
 場所/事務所協会事務局(Web会議)  
 出席者/会長、副会長、事務局長  
 議題/議案  
 第1回理事会 提出議案について  
 令和5年度事業報告について  
 令和5年度収入支出決算報告について  
 令和5年度特別会計(全国大会関係)収入支出決算報告について  
 上記に係る監査報告  
 令和6・7年度役員改選について  
 正会員の入会の可否について  
 協議事項  
 令和6年度 委員長・副委員長会議の開催について  
 本協会顧問・相談役の選任に係る対応について  
 中四国ブロック協議会青年部会に係る対応について  
 鳥取県住宅ストック性能向上コンソーシアムへの参画について  
 報告事項  
 藤井泰徳氏叙勲について

ポケット版会員名簿の発行について  
 令和6年度日事連建築賞について  
 鳥取県耐震ケースマネージメントの実施について  
 会議等開催状況(1.15以降)  
 今後の日程

### ■第2回三役会

日時/令和6年6月10日(月)10:00～  
 場所/事務所協会事務局(Web会議)  
 出席者/会長、副会長、専務理事  
 議題/第2回理事会 提出議案について  
 委員会及び部会の委員の選任について  
 賛助会員の入会の可否について  
 協議事項  
 令和6年度 委員長・副委員長会議の開催について  
 第46回全国大会(福井大会)、青年話劇会及び県外研修会の実施について  
 優良業務表彰制度の改正について  
 県有施設保全点検業務に係る対象数量の拾い出し委託について  
 報告事項  
 会議等開催状況(4.24以降)  
 今後の日程

### ■第3回三役会

日時/令和6年10月18日(金)10:00～  
 場所/事務所協会事務局(Web会議)  
 出席者/会長、副会長、専務理事  
 議題/第3回理事会提出議案について  
 令和6年度県との意見交換会議について  
 協議事項  
 木造住宅耐震業務料の改定案  
 報告事項  
 日事連共同要望について  
 鳥取県耐震マネージメントの実施協力に関する連携協定について  
 木造耐震診断体制強化事業について  
 県有施設数量調査業務について  
 木の住まいフェア無料相談会について  
 住まいまちづくり協議会について  
 県外研修及び第46回建築士事務所全国大会(福井大会)の実施について  
 鳥取県感震ブレイカー普及協議会について  
 会議等開催状況(7.3以降)  
 今後の日程

### ■第4回三役会

日時/令和6年11月25日(金)13:15～  
 場所/事務所協会事務局(Web会議)  
 出席者/会長、副会長、専務理事  
 議題/第4回理事会提出議案について  
 正会員の入会の可否について  
 協議事項  
 令和7年新年互礼会の開催について  
 年賀状の令和8年廃止について  
 報告事項  
 県との意見交換結果について  
 鳥取県耐震マネージメント(戸別訪問)について  
 木造耐震診断体制強化事業(建築士会受託)について  
 木造住宅耐震診断に係る労務量調査について  
 最新版建築工事特記仕様書のリリースについて  
 会議等開催状況(10.30以降)  
 今後の日程

### ■第5回三役会

日時/令和7年2月20日(木)10:00～  
 場所/メール開催  
 出席者/会長、副会長、専務理事  
 議題/第5回理事会 提出議案について  
 建築士事務所登録等事務規程の一部変更について  
 賛助会員の入会の可否について  
 協議事項  
 令和7年度年次功労者表彰候補者の推薦について  
 報告事項  
 各単体会ホームページにおけるリクルート情報発信及び相互リンクについて  
 会議等開催状況(12/10以降)  
 今後の日程

## ■第6回三役会

日時/令和7年3月26日(水)9:00  
場所/事務所協会事務局(Web会議)  
出席者/会長、副会長、専務理事  
議題/第6回理事会提出議案について  
令和7年度事業計画(案)の承認について  
令和7年度取入収支予算(案)の承認について  
定期総会の招集(案)について  
協議事項  
令和7年度日連年次功労者表彰候補者の推薦について  
報告事項  
事務所登録のオンライン化の開始について  
第47回建築士事務所全国大会(新潟大会)について  
会議開催状況(12/10以降)  
今後の日程

## ■正副委員長会議

日時/令和6年7月2日(火)15:00～  
場所/倉吉シティホテル  
出席者/会長、副会長、各委員会正副委員長  
議題/1、委員会等事業計画の検討  
2、各委員会の主たる議題  
(1)総務・企画委員会  
・会員の増強等組織拡充の取り組み  
・苦情の解決業務の実施  
・令和6年「第46回建築士事務所全国大会(福井大会)」の参加に向けた調整  
・行政機関との相互連携及び事業推進に係る業務協力  
・木造住宅耐震診断に対する報酬改正要望  
(2)広報・編集委員会  
・協会の広報活動  
・令和6年度 建築士事務所のキャンペーン実施  
(3)業務・技術委員会  
・「建築士定期講習」(法定講習)の開催(建築士会と共催)  
・「開設者・管理建築士のための管理研修会」(知事指定講習)の開催  
・業務技術に関する講習、講演会、視察等の検討  
・建築工事特記様書の編集・発行  
・高齢者居住住宅の改修事業への協力  
・適合証明業務講習会の開催  
・特定建築物の定期調査等の推進  
(4)青年部準備会  
・中四国ブロック協議会青年部会への対応  
・青年部創設に係る検討について

## ■第1回広報編集委員会

日時/令和6年7月2日(火)15:00～  
場所/倉吉シティホテル  
出席者/担当副会長、委員長、副委員長、委員  
議題/会誌「建築とっとり」105号の刊行について  
(1)発行時期について  
(2)ページ構成について  
(3)有料広告について  
(4)その他  
オンライン木の住まいフェア2024  
「無料相談会」の実施について

## ■第1回指導(倫理)委員会

日時/令和6年12月16日(月)13:00～  
場所/Web会議  
出席者/委員長、委員5名  
議題/苦情相談に係る対応について

## 建築士事務所キャンペーン

## ■住まいの無料相談会

[東部]  
日時/令和6年9月28日(土)10:00～  
場所/鳥取産業体育館メインアリーナ  
参加者/相談員4名  
[中部]  
日時/令和6年11月15日(金)17:00～  
場所/新日本海新聞中部本社  
参加者/相談員3名

[西部]

日時/令和6年9月28日(土)10:00～  
場所/米子産業体育館サブアリーナ  
参加者/相談員7名

## 講習会

### ■令和6年度一級/二級/木造建築士定期講習(第2期)

日時/令和6年7月26日(金)9:30～  
場所/伯耆しあわせの郷  
受講者/17名

### ■令和6年度一級/二級/木造建築士定期講習(第4期)

日時/令和7年2月21日(木)9:30～  
場所/伯耆しあわせの郷  
受講者/14名

### ■「既存住宅状況調査技術者」講習【新規講習】

《会場講習》  
日時/令和6年10月3日(木)9:20～  
場所/伯耆しあわせの郷  
受講者/5名

### ■「既存住宅状況調査技術者」講習【更新講習】

《会場講習》  
日時/令和6年10月23日(水)9:20～  
場所/伯耆しあわせの郷  
受講者/12名

### ■適合証明技術者業務講習

《会場講習》  
日時/令和6年10月23日(水)13:30～  
場所/伯耆しあわせの郷  
受講者/8名

### ■開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会

日時/令和6年11月15日(金)10:00～  
場所/伯耆しあわせの郷  
受講者/32名

### ■建築士事務所のトラブル回避のポイント研修会

日時/令和7年3月6日(木)9:00～  
場所/伯耆しあわせの郷  
受講者/3名

## 建築物耐震診断等評価業務

### ■第69回鳥取県耐震診断等評価委員会

日時/令和6年11月28日(木)  
場所/とりぎん文化会館第3会議室  
対象建物(公共施設)2棟

### ■鳥取県耐震診断等評価委員会(専門委員会)

第69回  
令和6年11月12日 (事前審査)Web会議  
令和6年11月19日 (指摘事項確認)Web会議  
令和6年12月12日 (評定委員会指摘事項確認)米子高専会議室

## 受託業務

### ■鳥取市住宅改修指導員派遣事業(令和7年2月現在)

実施件数 令和6年度 6件

### ■各市・町 木造住宅耐震診断業務(令和7年3月現在)

鳥取市60件、米子市65件、倉吉市29件、境港市40件、岩美町10件、智頭町4件、八頭町12件、三朝町6件、北栄町17件、大山町4件、伯耆町6件、日南町2件、日野町1件(計256件)

### ■各町 木造住宅耐震化戸別訪問業務(令和6年度新規)

八頭町53件、若桜町50件、智頭町45件

### ■鳥取県木造住宅耐震化専門業者公表審査

日時/令和6年2月12日(水)13:10～  
場所/伯耆しあわせの郷  
参加者/23名

## 新年互礼会

日時/令和7年1月31日(金)  
場所/ホテルニューオータニ鳥取  
参加者/来賓11名、会員他

## 会員の異動

### ■正会員入会(令和6年4月～)

株式会社しらいし設計室  
〒683-0852 米子市河崎3315-38  
TEL:0859-57-8837  
開設者:白石 博昭  
管理建築士:白石 博昭

渡辺浩二設計室  
〒684-0033 境港市上道町3256  
上通ビル6号  
TEL:0859-42-5357  
開設者:渡辺 浩二  
管理建築士:渡辺 浩二

### ■賛助会員入会(令和6年4月～)

株式会社 芝岡  
〒683-0101 米子市大篠津町4920  
TEL:0859-25-0325  
FAX:0859-25-0350  
担当者名:寺本 光孝

## 行事予定

### ■5月

9日(金) 令和6年度事業等監査会  
13日(火) 第1回三役会(Web会議)  
16日(金) 第1回理事会(Web会議)  
23日(金) 令和7年度定時総会

## 編集後記

最近では会報誌もデジタル化されてきつつあります。でも紙の書物の方が皆様に気軽に読んで頂けるように思います。

この「建築とっとり」を手にとって読んで頂き、鳥取県建築士事務所協会のことを少しでも知って頂ければ幸いです。この会報誌が出るころには、建築基準法の大きな改正もあります。いろいろなことが変わっていく時代です。皆様が笑顔で過ごせる時代が近づいてくると信じているものです。今回の編集にあたり事務局をはじめ皆様の多数のご協力ありがとうございました。次号発行につきましてもご協力よろしくお願いたします。

広報編集委員長 吉田 成年



巨大なビルかと思間違えるような客船。このような客船が今年度約30隻来航しました。

北米から、ヨーロッパから、アジアから 様々な国々の人々がこの境港に降り立ちます。

まさしく世界に向けた日本海側の玄関です。今年度は航空機も韓国便を始めとして香港便が復活。そして台湾便も来年度就航します。来年度は7月まで既に30数隻の来航予定があるとのこと。インバウンドがこの地にもたらす影響はどのようなのでしょうか。

(文：吉田 成年)

## 建築とっとり 2025.3 第105号

発行／一般社団法人 鳥取県建築士事務所協会

〒680-0022 鳥取市西町2丁目102 西町フロインドビル2F  
TEL.0857-23-1728 FAX.0857-21-6112

URL. <http://31kjk.com> E-mail: [jimu31@kdt.biglobe.ne.jp](mailto:jimu31@kdt.biglobe.ne.jp)

編集：広報編集委員会